

第九回衆議院議事速記録第三十五號

明治二十九年三月十一日(水曜日)午後一時二十四分開議

議事日程 第三十五號 明治二十九年三月十一日 午後一時開議

- 第一 鐵道敷設法中改正法律案 (兩院協議會 議長報告) 第一讀會
- 第二 馬匹ノ調査及檢査ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會
- 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第四 酒造稅法案(政府提出) 第二讀會
- 第五 家用酒稅法案(政府提出) 第二讀會
- 第六 混成酒稅法案(政府提出) 第二讀會
- 第七 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出) 第二讀會
- 第八 明治十九年勅令第六十一號稅率改正法律案(政府提出) 第二讀會
- 第九 輸入棉花海關稅免除法律案(政府提出) 第二讀會
- 第十 日本勸業銀行法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十一 農工銀行法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十二 農工銀行補助法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十三 裁判所ノ設立及位置並管轄區域ノ變更ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十四 大阪府下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十五 兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十六 埼玉縣下國界變更及郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十七 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十八 千葉縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第十九 茨城縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第二十 栃木縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)

- 第二十一 福島縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第二十二 巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第二十三 富山縣下郡分離及廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第二十四 鳥取縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第二十五 島根縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第二十六 熊本縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)
- 第二十七 酒精營業稅法中改正法律案 第一讀會ノ續
- 第二十八 山形縣下郡分合法案(重野謙次郎君外二名提出) 第一讀會

議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマスル (佐脇書記官朗讀)

貴族院ニ於テ新聞紙法案ハ否決、市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案、公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案ハ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

- 廣島縣下郡界變更法律案 提出者 井上角五郎君 佐々木高榮君
- 日本銀行課稅法案 提出者 永井穎雄君 富永正男君
- 阿部興八君 河北勘七君
- 東尾平太郎君 中島祐八君
- 水産傳習所官設建議案 提出者 改野耕三君 平島松尾君
- 堀内賢郎君 島田孝之君
- 恒松隆慶君 早川龍介君
- 輸出羽二重檢査所法案 提出者 松田吉三郎君 小室重弘君
- 中村克昌君 眞下珂十郎君
- 平島松尾君 荒井啓五郎君
- 田村順之助君
- 清國及朝鮮國在留日本人取締法案 提出者 鈴木充美君 和田彦次郎君

特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
河川法案審査特別委員長 湯本義憲君
同理事 秋岡義一君

濱田儀一郎君ハ大阪府兵庫縣境界變更法律案ノ提出者ニ有之候處都合ニ依リ取消ス旨申出ラレタリ

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ就イテ決議ヲ要シマスル、鈴江泰造君病氣ニ附キ二週間ノ請暇、内藤久寛君病氣ニ附キ十日間ノ請暇、孰モ御承認ヲ請ヒマスル

(異議ナシ)ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ承認ヲ與ヘルコトニ決シマス、次ハ日程ノ第一、鐵道敷設法中改正法律案、兩院協議會ノ成案、朗讀ヲ省イテ全部ヲ讀題ト爲シマス——重野謙次郎君

第一 鐵道敷設法中改正法律案(兩院協議會議長報告)

(重野謙次郎君演壇ニ登ル)
○重野謙次郎君(二百二十九番) 今日ノ日程ノ第一ニ記載シテアリマスル兩院協議會ノ結果ヲ報告致シマスガ、此衆議院規則ノ二百三十二條ニ協議會ニ於ケル衆議院ノ委員ハ其ノ報告委員ヲ互選スルコトヲ得ト斯ウ書イテアリマスルノデ、協議員中デ報告委員ト云フコトニナリマシタノデ、私カノ模様ヲ大略報告致セウト思フ、是ハ過ル六日ニ兩院ノ協議會ヲ開キマシタノデゴザイマシタ、此衆議院カラ出マシタ委員中カラハ、議長ニハ梶山鼎介君ガ當選ニ爲リマシテ、ソレカラ副議長ニハ望月右内君ガ當選ヲ致シマシタノデゴザイマス、ソレデ此事ハ先月ノ二十九日ニ、貴族院ノ決議ハ違法デアラ、不法デアラト云フコトヲ當院ガ決シタ次第デアラマシタノデアリマス、ソレデ協議會ニ於キマシテモ、矢張此衆議院カラ出マシタ所ノ委員ハ、衆議院ノ意思ヲ代表致シマシテ、其議論ヲ執ツタノデゴザイマス、其議論ノ大要ハ、此協議會ノ速記録ニ委シクゴザイマスカラシテ、是ハ述ベナクテモ宜イノデゴザイマスガ、唯要點タケ述ベテ此御報告ヲ致シタ宜カラウト思フ、ソレデ此貴族院ノ方ノ主張致シマシタ所ノ議論ハ、此鐵道敷設法第七條ノ根原法デアラカラ、根原法ヲ改正スル以上ハ差支ガナイ、斯ウ云フ唯意味ニナツテ居ルノデアリマス、此方カラ主張致シマシタ所ノハ、鐵道敷設法第七條、ソレカラ此第六號、ソレカラ決シテ豫算ヲ出サナケレバ、此三ツノモノガ揃ハナケレバ、豫算ト云フモノハ提出ガ出來ナイ、然ルニ此衆議院デハ、法律六號ト云フモノ、改正ヲ否決ヲシテ、前ノ六號ノ即チ八王子起點ト云フコトヲ認メテ、前ノ六號ヲ否決シタノデアラカラシテ、來年ハ免モ角モ、當年ニ於テハ到底是ハ爲シ難イ事デアアル、ソレハドウ云フコトデアアルカト云フト、即チ此憲法ノ三十九條ニ於テ、兩院ノ中ニ於テ否決シタル議案ハ、其會期中ニ於テ提出スルコトヲ得ズ、此法律ニ抵觸ヲスルト云フコトハ、衆議院カラ出マシタ所ノ議員ハ、其前議ヲ執ツタノデゴザイマス、ソレデ既ニ是ハ前申ス過去月二十九日ニ於テ法律違反デアアル、即チ貴族院ノ處置ハ不法デアラト云フコトニ決シマシテ、委員選舉ニ爲ツタノデアリマスカラ、矢張其意思ヲ代表シテ、衆議院カラ出マシタモノハ其前議ヲ執ツタノデアリマス、然ルニ此六日ノ協議員會ニ於キマシテ、議長ハ矢張法律ニ依ッテ籤抽キヲ致シマシ

タ所ガ、貴族院議員ノ方デ會我君ガ議長デアツテ、貴族院ノ方ガ議長ヲ取ツタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、其結果一票ノ多數デ、衆議院ノ議ガ勝ヲ占メタ譯デアリマスカラ、此事ハ最早既ニ決シテアルコトデ、別段詳細ナ報告ヲ要シマスマイト思ヒマスカラ、唯サウ云フ結果式御報道致セバ宜カラウト思ヒマスカラ、即チ衆議院ハ先キニ申ス通、御廻申シテ置イタ通ニ決定ヲシタノデアリマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 協議會ノ成案ニ就イテ、全部ノ決議ヲ採リマスル、該案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數
○議長(楠本正隆君) 大多數——次ハ日程第二、馬匹ノ調査及検査ニ關スル法律案第一讀會——朗讀ヲ省略致シマスル

第二 馬匹ノ調査及検査ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)
馬匹ノ調査及検査ニ關スル法律案

第一條 戰時若クハ事變ノ際軍馬ノ補給ヲ確實ナラシムル爲メ馬匹ノ調査及検査ヲ行フ

第二條 馬匹ノ調査ハ島司郡市町村長之ヲ行ヒ其ノ検査ハ陸軍官憲之ヲ行フ但検査ハ一年一回ヲ超ユルコトナシ

第三條 馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ調査ニ必要ナル事項ヲ届出ヘシ

第四條 馬匹ノ所有者ハ指定ノ検査場ニ於テ馬匹ノ検査ヲ受クヘシ

第五條 検査ヲ受ケタル馬匹所有者ニハ手當及旅費ヲ給ス

第六條 徵發令ニ依リ徵發ノ免除ヲ受クヘキ馬匹ニハ此ノ法律ヲ適用セス

第七條 馬匹ノ調査及検査ヲ行フヘキ區域、時期、馬匹ノ種類、第三條ノ届出事項及第四條ノ手當旅費ノ金額ニ關スル規程竝ニ此ノ法律施行ノ爲メ必要ナル規程ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附則
第七條 東京市京都市大阪市ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市長ノ職務ハ區長之ヲ行フ

市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市町村長ノ職務ハ區長ノ長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第八條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

(政府委員參謀本部第一局長事務取扱陸軍少將寺内正毅君演壇ニ登ル)
○政府委員(寺内正毅君) 諸君、唯今提出致シマシタ所ノ、此馬匹ノ調査及検査ニ關スル法案デゴザイマス、是ハ誠ニ單簡ナ案デゴザイマシテ、此理由ハ册尾ニ付シテゴザイマスガ、此大要ヲ摘申デ上ゲレバ、戰時事變ニ當リマシテ、軍馬ノ補充ヲ要シマスルモノヲ、平時ニ於テ調査シテ置キマセウト云フコトデゴザイマス、即チ之ヲ單簡ニ申シマス、徵兵即チ壯丁ヲ豫メ検査ヲシ、豫メ體格ヲ選ンデ置キマス、同様に、徵兵即チ壯丁ヲ豫メハ軍備ノ整理ニ就キマシテ、誠ニ重要ナ事柄デゴザイマシテ、大抵是ハ何レノ國ニテモ既ニ成立ッテ居ルノデゴザイマス、我國ハ未ダ此調査ノ方法ガ成立ッテ居リマセヌ故ニ、一昨年以來ノ事變ニ就キマシテモ、徵發シタ馬ヲ

方ニナリマス、東京ヤ神奈川等ノ最下層ノ細民ガ、即チ此濁酒ノ顧客デゴザリマス、故ニ清酒ノ方デ云フナラバ、税ノ上リマシタダケニハ酒ノ上ノ價デ高ウ賣ルト云フコトモ容易ニ出來マセウケレドモ、濁酒ノ方ニナリマスルト、元ト細民ガ相手デゴザリマスカラ、税ガ高ウナリマシタカラト云フテ、ツレニ相應スルダケノ價ヲ増シテ賣ルト云フコトハ到底出來ナイト言ハナケレバナラヌ、若シ是ガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、細民ハ僅ニ二錢カ三錢ノ濁酒ヲ飲ム所ノ憐レナル下層ノ細民デゴザリマスルカラ、ツレニ其酒ノ價ノ高キニ堪ヘズシテ、即チ其酒ヲ飲マヌト云フ結果ニナラナケレバナラヌ、サウ云フコトニ爲リマスレバ細民ハ酒ガ飲メナイ、營業者ハ業ヲ廢サナケレバナラヌト云フ結果ニ至ルト極言ヲシナケレバナラヌト云ウヤウナ始末デゴザリマス、故ニ同シク間接税デゴザリマシテモ、之ヲ以テ同率ノ下ニ置クト云フコトハ、甚ダ事情ニ於テ差支ノアル事デアラウト考ヘルノデアアル、而シテ此一圓ノ等差ヲ附ケテ、ドレ位此收入上ニ影響ヲ及スカト云フコトヲ計算ヲ致シテ見マスレバ、土臺ガ二十九年ノ政府豫算デ見マスレバ、二万八千石ト云フ極ク些細ナ見積高デゴザリマス、故ニ一石七圓ト致シテ見マシタ所ガ二十万圓ニ上ボラナイノデアリマス、所謂十九万何千圓ト云フ高デアル、ツレデ土臺此濁酒ノ税ヲ取りマセヌトシタ所ガ二十何万圓ト云フ、其上ニ僅ニ一圓ノ差デゴザリマスカラ、即チ是デ云フナラバ二万圓ト云フノ金スラ此收入ノ上ニ影響ハナイノデアリマス、此二万圓ハ僅デゴザリマスケレドモ、此東京其外ノ細民ノ上ニ影響ヲ及ス所ノモノハナカク、至大ナモノデゴザリマス、若シ此一圓ノ等差ガ附クナラバ、此營業者此細民ト云フモノハ餘程幸ヲ得ルト云フ結果ニナルダラウト考ヘルノデアリマス、金高ハ僅デゴザリマスルケレドモ、其影響スル所ハ甚ダ大ナルモノデアラウト私ハ考ヘルノデアアル、ツレデ土臺此濁酒ノ總體ノ上ノ税ト云フモノハ、清酒ノ滓引ノ税金ニモ當ラナイ、若シ清酒ノ滓引ヲシテ賣ルトスナラバ、殆ド是ガ二十万ニモ當ルノデアアル、濁酒ノ總體ノ税ヲ合セテ見マシタ所ガ、此滓引總體ノ税ニモ當ラヌト云フ位ノ聊ナモノデアアル、然ルニ斯ノ如キ等差ノアルベキモノデモ、尙ホ一率ノ下ニ置クト云フコトハ、甚ダ其當ヲ得ナイノデアアラウト、私ハ益々其感ヲ深クスルノデアアル、然ルニ之ヲ維持スル所ノ人々ノ申スマスルニハ、元ト同率ノ下ニ在ッタ清酒ト濁酒ト云フモノハ、矢張四圓ノ率ノ下ニ在ッタカラ、矢張今度モツレト共ニ引上ゲルガ相當デアルト云フ意見ガアルヤウデゴザリマスケレドモ、成程一應尤モデハゴザリマス、併ナガラ今日マデ一率ノ下ニ置イタト云フコトハ、私ハ當ヲ得ナイノデアアルト云フコトハ、前段述べタ所ノ論法ニ據ッテ明ナ事デアラウト考ヘル、然ルニ是マデ一率ノ下ニ置イタカラト云フテ、イツマデモ其不都合ナル所ノ一率ノ下ニ置カナケレバナラヌト云フコトハ、益々其不都合ヲ感ジナケレバナラヌノデアアラウト考ヘルノデア、故ニ今日マデ同等ノ下ニ置イタカラト云フ論法ニ依ッテ、此度ノ高クナルニ就イテモ尙ホ共ニ引上ゲテ高ウシナケレバナラヌト云フ道理ハ決シテナイト思フ、或ハ又此反對ノ意見ヲ云フ所ノ人々ハ、一體取締ガ付カナイ、清酒ノ方ハ清シデカラ検査ヲスルノデアアルガ、濁酒ハ濁リ酒デ検査ヲスルカラ取締ガ付カヌ、或ハ取締ガ十分付カヌカモ知ラヌデゴザリマス、一步ヲ讓ッテ云フナラバ、併ナガラ取締ガ十分付カヌカラト云フタメニ、其同等ニ置クベカラザル——一率ノ下ニ置クベカラザル所ノモノヲ以

テ、強ヒテ一率ノ下ニ置クト云フコトハ如何デゴザリマセウ、所謂法律モ其不法ヲ認メテ、即チ法ヲ制スルト云フコトニ詰リ結果ナルノデアアル、苟モ法ヲ制スルニ當ッテ斯様ナ不當ノ所ノ主意ト云フモノハナイ筈デゴザリマス、斯ノ如キ事ハ決シテ私ハ反對ノ理由トナルニ足ラナイ、又或ハ曰ク、濁酒ノ方ハ大變清酒ニ比レバ割合ノ宜イモノデアアル、私モ開イテ居リマスルノニ、清酒ニ比レバ割合ノ宜イモノデアアルサウデゴザリマス、併ナガラ此濁酒ノ如キ事ニナリマスレバ、清酒ノヤウニ年中賣捌クト云フコトモ出來ナイ性質ノモノデアアル、僅ニ冬期六箇月ノ間スラ賣捌クト、出來ナイ品物デアアルノミナラズ、腐敗シ易ウゴザリマス、遂ニ其時ニハ原價ヲ引イテ尙賣ランケレバナラヌト云フガ如キ不幸モ屢、アルモノダサウデゴザリマス、ノミナラズ斯様ナ性質デゴザリマスカラ、之ヲ遠方ニ持出シテ賣捌クト云フヤウナ事モ出來ナイノデアアル、デ、東京ハ東京、神奈川ハ神奈川ト云フ一部ノ間ニ賣捌クト云フヨリ外ハ途ガナイト云フ如キ性質ノモノデゴザリマスカラ、決シテ性質ヨリ云フモ、清酒ト此濁酒ト云フモノト同一ニ看做スコトノ出來ナイ品物デアアルト云フコトハ、之ヲ以テモ明デアアル、或ハ曰ク、水ヲ大變混ゼテ賣ルガ故ニ、マダ割合ノ宜イモノデアアルト云フ議論モアル、又堅ク作ッテ水ヲ入レテ面シテ安ク賣ルコトガ出來ルト云フ議論ガゴザリマスケレドモ、水ヲ加ヘルト申シマシタ所ガ、大概酒ニハ分量ノアルモノデゴザリマシテ、或度ニ達スレバ亞爾爾保兒ノ性質ガナクナルコトニ爲リマスルノデ、法外ナ水ヲ加ヘルト云フコトハ、清酒デモ濁酒デモ出來ヌト云フコトハ、是ハ化學上ノ即チ原則デアアル、然ル以上ハ或ル程度ヨリ以上ハ水ヲ加ヘテ安ク賣ルト云フコトハ出來ナイト云ハナケレバナラヌノデアリマス、若シ是ガ出來ルナラバ矢張清酒モ出來ルト云ハナケレバナラヌノデアリマス、濁酒ニ限ッテ斯ノ如キ論法ガ生ズルト云フコトハ決シテナイト考ヘルノデアアル、又堅ク造ルノ宜イ申シマスケレドモ、是モ製酒ノ方法ニ依ッテ、或ル程度ニ達シマセヌト醱酵シナイ、或程度ヲ超エマスレバ醱酵スルト云フ、是モ亦化學上ノ程度ト云フモノハ自ラ存シテ居ルノデアアル、唯堅ク造ッタカラト云フテ、水ヲ混ゼレバ宜イモノデアアルト云フコトハ、斷言スルコトハ出來ナイ、斯様ナモノデアリマスカラ、濁酒ト清酒ト云フモノト同等ノ差ヲ附ケルト云フコトハ、決シテ不當ノ事デアナイノデアアル、相當ナ率ノ立テ方デアラウト私ハ厚ク信ズルノデアリマス、併ナガラ如何セン、清酒ノ如キモノハ區域ガ廣ク巨リマスナリ、又酒造家モ大イナル資本ヲ持ッテ居ルモノガ餘計デゴザリマスカラ、清酒ノ言フ所ノ聲ハ至ッテ大イナル耳ニ聞エマセウガ、併ナガラ濁酒ノ營業者ナレバ資本モ少ク、又顧客ハ下層ノ細民ト云フコトデ、自ラ反對ノ聲モ低ク聞エマスルケレドモ、苟モ立法者タル者ハ、縱令反對ノ聲ガ小サイニモセヨ、低イニモセヨ、斯ノ如ク等差ノ存スベキ事情ノ存スル以上ハ、宜シク相當ノ等差ヲ附ケルコトハ相當ノ處置デアラウト私ハ信ズルノデアリマス、故ニ願クバ、諸君モ此修正案ニ御同意下サレマレテ、所謂一圓ノ等差ヲ附ケテ、濁酒ニ對シテハ六圓ニスルト云フコトニ御贊成アラント云フ私ハ希望致シマス、ツレカラ但書ノ北海道ノ或ル部分ニ對シテ、一圓ヲ減ズルト云フコトデアリマス、是ハ已ニ委員會モ全會一致ヲ以テ一圓ヲ減ズルト云フコトニ決議ヲ致シマシタ、是ハ已ニ別段ニ御反對ガナイコトデアラウト考ヘマス、即チ北海道ハ是マデ元ノ函館縣ヲ除イタ或ル分

ハ、酒ノ税ハ半額ヲ納メテ濟ンダノデゴザイマス、然ルニ此度此酒造税改正案ニ據リマスレバ、元ト半分デアツタモノヲ俄ニ引上ゲテ、全般ノ税率ノ下ニ置クト云フコトハ、是レ亦甚ダ不當ノコトデアラウト考ヘマスノデアリマスカラ、是ハ格別御異論ハナイコトデアラウ、デ、敢テ説明ヲ要スル必要ガナイノデアリマスカラ、所謂當分ノ中北海道ニ就イテ、元ト函館縣ノ管轄ヲ除ク外ハ、一圓ヲ減ズルト云フ、斯ウ云フ修正案デゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 工藤行幹君

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○工藤行幹君(百十番) 私ハ此酒ノ増税案ニ就イテハ、誠ニ淡泊ナモノデゴザイマシテ、ドウセ此國家ノ軍備擴張其他ノ事ニ就イテハ、非常ナル英斷ヲ以テシナクツチャナラヌト云フコトハ、大體ニ私ガ決心シテ居ルコトデゴザイマス、故ニ此事ニ就イテハ、敢テ喋々ヲ要シマセヌ、併シ段々田口君ナリ、平島君ナリノ御修正モゴザイマスルガ、此方ハ尙ソレニ依リテ贊否ヲ表スルデセウガ、私モ此修正ヲ致シタイと思フノハ、唯四條ノ但書ノ一條デゴザイマス、是ハ誠ニ些々タルコトノヤウデ、又平島君ガ唯今言ハレルニハ、之ヲ一圓下ゲルノハ誰モ異存ハアルマイ、委員會ニ於テモ全會一致ヲ以テ之ヲ決議シタルデアリカラ、異存ガアルマイト云フコトデアリマスルガ、是ハ私ハ北海道ノ人民ノタメノミナラズ、全體國家ノタメニ甚ダ憂フベキコトダト私ハ思フノデゴザイマス、ナゼナレバ先刻平島君モ言ハレル通、元ト函館縣ノ管轄ヲ除クノ他ハ、一般ノ酒造税ニ對シテ半額ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ北海道ニ於テハ運搬ノ不便、又ハ其原料ナル米ガ出來ナイ故ニ、此酒ガ非常ニ高ニ、皆他カラバカリ這入ツテ居ツテ、其北海道ノ内造ルト云フノハ極少イノデアルノデゴザイマス、況ヤ其原料ガ高イカラ、縱令税ヲ安クシテモ、原價ニナルト餘程高ク賣ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ル、故ニ最前カラ此事ハ一般ノ税法ノ半額ヲ以テ程度トシテ居ツタノデゴザイマス、尤モ此時ニ當分ト云フ名カラ之ヲ半額ニシテ置イタト云フコトデゴザイマス、然ルニ今税法ノ改正ト共ニ多少負ケナクテハナラヌト云フコトハ、北海道ノ人民ニ限ツテ其義務ヲ負ハヌト云フ譯ハゴザイマセヌカラシテ、増スコトハ當然デゴザイマスルケレドモ、之ヲ俄ニ僅ニ一圓ヨリ差ガナク、即チ七圓トスルナラバ六圓ニナル、若シ修正案ノ如ク六圓トスルナラバ五圓ニスルト云フノハ、北海道ノ人民ニ限ツテ甚ダ不幸ノ事デゴザイマス、如何ニモ急激ノ増シ方ト云フハザルヲ得ナイ、故ニ委員長ニモ此一圓ト云フノハ、ドウ云フ所カラ出タコトデアルカト云フコトヲ昨日御尋申シテ見ルト、ソコニ至ツテハ敢テ確然タル御答モナイ、唯一圓デ宜カラウト云フコトデアアル、又委員會ニ於テモ畢竟之ヲ一圓トシタノハ、恐ラクハ委員會ノ諸君等ハ北海道ノ事ニ御不案内ノ所カラ、知ラズ識ラズ斯ウ云フコトニナツタラウカト思ヒマス、私共ハ青森縣デゴザイマシテ、北海道ノ事ハ聊カ承知シテ居ルノデゴザイマスルカラシテ、是非此事ヲ諸君等ニ御話申シテ、御贊成ヲ得タイと思フノデゴザイマス、然ルニ或論者ハ、若シ北海道ニ酒ノ税ヲ安クシタナラバ或ハ北海道デ酒ヲ釀造シテ、内地ヘ持ツテ來ヤセナイカ知ラヌ、或ハ又函館縣管内式ハ當リ前ノ税ヲ取ツテ、其他ヲ安クシタナラバ、其他ノ地面ニ於テ釀造シテ、元ノ函館縣ノ管轄ヘ持ツテ來テ賣リハセヌカ

ト云フ懸念モアルト云フコトデゴザイマスルガ、是ハ一應座上ノ御考デハ御尤ノヤウデゴザイマスケレドモ、決シテ左様ナ事ハナイノデゴザイマス、ト云フノハ此内地ニ近イ方ハ、皆函館縣ノ管轄ニ爲ツテ居リマシテ、其他ノ處ガ内地ヲ離レルコトハ大變遠ウゴザイマスルカラ、ソコデ酒ヲ釀造シテ内地ヘ持ツテ來ルト云フコトハ到底算盤ニ合ハナイ、利益ニ合ハナイノデゴザイマスルカラ、右様ノ事ヲスル譯ガナイノデゴザイマス、現ニ其證據ト云フモノハ、此北海道ノ酒ノ釀造ト云フモノハ、近來決シテ上ツテ居ラヌデゴザイマス、ズツト數箇年ノ間少々バカリ差違ガアルケレドモ、大ナル増シテ來ルコトガナイノデゴザイマス、而シテ輸入、他ノ國カラ北海道ニ、内地カラ這入ルモノハ年々ドシノ増シテ居ルノデゴザイマス、諸君モ御存ジノ通、北海道ハ年々非常ニ人口ガ増加シテ往カカラシテ、酒ヲ造ルノモ澤山負ケナクチャナラヌト云フヤウダケレドモ、決シテ負ケナイト云フモノハ畢竟原料ニ乏シイ、又此運輸ノ不便ト云フ所カラサウ云フコトニ爲ツテ居ルノデゴザイマス、故ニ又其各酒造家ノ所ヲ調ベテ見テモ、元ノ函館縣外ノ地面ニ居ツテ造ツテ、函館縣ノ管轄ニ持ツテ來テ賣ルト云フコトハ出來ナイデゴザイマス、出來ヌト云フモノハ諸君モ御存ジノ通運輸ガ不便デゴザイマスカラ、一石ニ就イテ二圓ヤ三圓ノ税ガ安クテモ、ソレヲ彼ノ地カラ此地ニ運搬スルノハ、ナカク澤山ノ運賃ガ掛リマスカラ右様ノ事ガ出來ナイ、若シ内地ノ如ク運賃ガ安カラウシ、又直比鄰ニナルト云フナレバサウデゴザイマスケレドモ、此酒屋ト酒屋ノ間ハ數十里ノ距離ヲ隔テ、居リマスカラ、決シテサウ云フ憂ハナイノデゴザイマス、抑、此北海道ノ二區八十八郡ト云フモノ、アル所ニ、酒ヲ造ルモノガドレダケアルカト云ヘバ、僅ニ二區十五郡ヨリナイノデゴザイマス、斯ノ如ク此酒ヲ造ルモノガ極少イノデアル、殊ニ先刻平島君ガ此濁酒ト清酒ノ事ニ就イテ人民ガ難儀スルト云フコトヲ言ハレタデゴザイマスルガ、是ガ私モ御同感ニ思ヒマス、其道理ハ一應御同感ニ思フ、然ルニ此北海道ニ移住スル者ハドウ云フ者デアルカト云ヘバ、内地ニテ生計豐ナラヌタメニ彼ノ地ニ移ルノデゴザイマス、昔ノヤウニ唯漁業家バカリデゴザイマスルト、漁業ハ隨分利益モアリ、又行クトキニハ船ニ乗ツテ酒ヲ持ツテ參リマスカラ、銘々酒ヲ持ツテ往ツテ飲メルカラ、ソコニ難儀モゴザイマセヌケレドモ、近來ノ如ク北海道ノ此内部ニ對シテ、耕作人所謂農業ヲ獎勵シテ大ニ移住セシメタノデアル、是等ノ如キハ此稅ヲ高クシタナラバ、誠ニ難儀ナモノデアラウト思フ、先達テ誰カノ演說ノ中ニモ、塞國デハ酒ヲ飲マナクチャナラヌト云フコトヲ言ハレタガ、日本中ニ北海道位ノ塞國ハゴザイマス、而シテ自分ノ故郷ヲ捨テ、初メ北海道ニ移タトキニハ、碌碌安眠スル住居モナイ、假小屋ニ這入ツテ開墾シナケレバナラヌト云フヤウナ爲體デアアルノデゴザイマス、故ニ此移住スル人民ハ成ルタケ酒ノ稅ヲ安クシテ、一杯ノ酒ヲ以テ終日ノ勞苦ヲ忘レルト云フヤウナコトニスルコト本意デゴザイマス、ソレヲ殊更ニ此稅ヲ是マデ例ノナイ急進セシメテ、俄ニ斯ノ如ク増加セシムルト云フコトハ、誠ニ私ノ感服シナイ所デゴザイマス、此北海道ノ移住ニ就キマシテハ、彼ノ北海道廳ノ經費ナリ、其他ノ事ニ就イテ國費ヲ費シテ、ドウカ早ク北海道ヲ開キタイ、北海道ニ多數ノ人民ヲ移住セシメタイト云フコトヲ政府デモ努メ、又人民——社會ノ有志者モ頻リ

ニ努メテ居ルノデアル、然ルニ斯ノ如キ急進ナル稅ヲ増加シテ、其移任心ヲ幾分力減殺セシムルト云フ如キハ、誠ニ國家ノタメニ取ラヌコトデハゴザイマセヌカ、一方ニハ國費ヲ費シテ之ヲ誘導シ、一方ニハ酒ノ稅ヲ遽ニ高ウシテ此人民ノ移任心ヲ萎靡セシムルト云フコトハ、誠ニ奇怪ナ事デアル、抑、北海道ト云フ所ハ、萬事ノモノガ其時ニ依ッテ不同デゴザイマスカラ、内地ヨリハ皆物ガ高クシテ移任民ハ困ッテ居ル、殊ニ船デモ著カヌトキニナルト、世間普通ノ直段カラ見マスルト云フト、三倍モ五倍モスルコトガアルヤウナ地面デゴザイマスル、其處ヘ——自然物ノ高イノハ已ムヲ得ナイガ、政府デ殊更ニ此稅ヲ重クシテ此人民ニ難儀ヲサセルト云フノハ、一向道理ニ適ハヌコトデアル、ソレトモ此稅ハ莫大ノ金ニナッテ之ヲ取ラナケレバ、政府ノ財源ガ立タヌト云フコトデゴザイマスルナラバ、是モ又已ムヲ得ナイ事デゴザイマスルガ、昨日モ——昨日カ政府委員ノ御答辯ニ依ルト、一圓減シテドレダケニナルカト云ヘバ、僅ニ五萬二千圓ト云フコトデゴザイマス、一圓減シテ五萬二千圓ヨリ減シナイノデアル、故ニ之ヲ今二圓位減シテ見タ所ガ十萬四千圓ヨリ減シナイノデゴザイマス、因ッテ私ハ此稅ヲ一圓ト云フノデ之ヲ三圓ト修正致シタイト思フノデゴザイマス、若シ之ヲ三圓減シテ國庫ノ歲入ガドレ丈減ルカト云ヘバ、十五萬六千圓ヨリ先ヅ概算デ減セヌト云フコトデゴザイマスカラ、是ダケノ金ガ減ッテモ決シテ歲計上ニソソナニ差支ヲ受ケルコトガナイ、而シテ從前ノ割合カラ見レバ、丁度半額デゴザイマスカラ、若シ七圓ト爲ッテナラバ三圓五十錢減シナクテナラヌ、六圓トナッテナラバ三圓ノ稅ニシナクテナラヌト云フヤウナ割合ニナリマスルケレドモ、サウ五十錢ダノ、二十錢ダノ、區々タルモノヲ掛ケルノハウルサイモノデアリマスカラ、免ニ角各種共ニ凡ソ從前ノ例ニ從ッテ此三圓ヲ減ズルト云フコトニ私ガ修正致シタイト思フノデゴザイマス、ドウゾ此事ハ決シテ吾々ハ地方ノタメデモナケリヤ、又一部ノ肩ヲ持ッテモナイ、所謂此全國ノタメニ北海道ヲ早く開拓ノ效ヲナサシメタイト云フ精神カラ出タノデゴザイマスカラシテ、ドウゾ滿場ノ諸君ハ此情實ヲ御酌量アッテ、滿場一致ヲ以テ御贊成アラントコトヲ私ハ希望スルノデゴザイマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○齋藤長輔君(二百九十九番) 議長……

○議長(楠本正隆君) 田口君ノ修正案ハ別段ニ提出ニ相成ツタノデゴザイマス、因テ朗讀ヲ致シテ贊成ノ有無ヲ質シマスル、然ル後……

○齋藤長輔君(二百九十九番) 私ハ贊成スルノデ

○議長(楠本正隆君) 贊成スルノデアリマス、問題ニ爲ルヤ否ヤヲ確メマ

○齋藤長輔君(二百九十九番) 問題ハ贊否ノ有ル無シニ依ッテ問題ニ爲ルノ

デゴザイマスカラ、贊成スルノデアリマス

〔林田書記官朗讀〕

- 第一種 清酒、白酒、味淋 一石 金七圓
 - 第二種 濁酒 一石 金六圓
 - 第三種 燒酎、酒精 一石 金八圓
- (贊成々々)ト呼フ者アリ(反對)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 定數ノ贊成ガアリマスニ依ッテ議題ト爲リマスル——齋藤長輔君

○千葉胤昌君(百三番) 工藤君ノ修正ニ贊成致シマス——工藤行幹君……

○議長(楠本正隆君) ツレヨリ此委員ノ報告ニナッテ居ル修正ノ中ニ、工藤行幹君ハ一圓ヲ二圓ト改メテ修正ガアリマス、是ハ定數ノ贊成ガアリマスカ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 是亦定數ノ贊成アリト認メマスル——齋藤長輔君

〔齋藤長輔君演壇ニ登ル〕

○深山登晴君(二百三十番) 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(楠本正隆君) マダ討論ハ一遍モアリマセヌ

○齋藤長輔君(二百九十九番) 深山君ハ、化物ノヤウナナリノ大キイ、メッ

コノ者ガ出タカラツンナ事ヲ仰シタルガ、先ヅ暫ク御聽ヲ願ヒタイ(深山登

晴君「簡單々々」ト呼フ)勿論アナタノヤウニ饒舌ハ致シマセヌ(草刈親明

君「化物ノヤウデスカ」ト呼フ)御覽ナサイ、化物見タヤウナヤウデス——私ハ

田口君ノ御説ヲ贊成シテ居ル者デゴザイマス、ウコデ田口君ハ盡サレテ居

程ノコトデゴザイマスケレドモ、私ノ考デモ此清酒ト云フモノニ七圓ノ稅ヲ

課シ、又清酒、濁酒、白酒、味淋等モ七圓ノ課スルノハ、實ニ酷ナコト、考ヘマ

スル、ツレ故ニ濁酒ヲ五圓ト致シ、清酒ヲ六圓ト致シ、其他二項ノモノハ勿

論、又燒酎ノ酒精ト云フモノヲ七圓ニスルト云フコトハ相當ト考ヘマス、第

一私ノ心配スルノハ、又贊成スルノハ、此灘邊ノ酒屋ハ此稅率ニ對シテモ

左程感ズルコトハナイデアラウト私ハ信ジマス、サリナガラ此法案ガ既

ニ法律トナッテ實施スルノ曉ニハ、取リモ直サズ全國ノ酒造家ニ之ヲ奉戴セ

シムルモノデゴザイマス、全國ノ酒造家ノ今日ノ有様、酒ノ程度ハ難

醸造法ハドウ云フゾイデアラウカト言フタナラバ、恐ラクハ是デハ堪ヘ難

コトデアラウト私ハ信ジマス、現在(簡單ニヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ、「大勢

ハ分ツテ居ル」ト呼フ者アリ、現在此政府ノ參考書ニ——取調ベマシタモノ

ニ就キマシテモ、東京ニ於テ明治二十八年ノ評價ニ依ッテ見マスルト、田舎

ノ酒ト上方ノ酒トハ、殆ド五圓以上一石ニ就イテ差ガアル、是ヲ以テ知ルベキ

コトデ、田舎ノ酒ガ今日ノ有様カラ見マシテモ、此原料トナルベキ白米ト云

フモノハ、目下ニシマシテモ十圓内外デゴザイマセウ、ソレニ對スルニ七圓

ノ稅金ヲ附シテ見タナラバ、取リモ直サズ十七圓ト爲ル、其酒ガ現在今日十

七圓ニ賣ルコトハ到底出來ナイ、シテ見レバ營業シテ利ガナイト云フコトハ

分リ切ツタ話デゴザイマスケレドモ、酒造家諸君ハ、自飲酒ト云フモノヲ嚴

酷ニ止メテ是レハ、専有營業同様に爲ルト云フ御覺悟デアルカ知レマセヌケ

レドモ、ナカノ此酒ト云フモノハ出來物デゴザイマシテ、千石造ッテ、殘

ラズ千石ガ佳良ノ酒ガ出來ルト云フモノデアリマセヌ、其中ニハ必ズ手

入ラシテ、直段ヲ低クシテ賣ラナケレバナラヌモノガ出來ル、ソレ等ノモノ

ガ二十圓——二十圓以上ニ賣ルコトハ到底出來マセヌ、現在此稅率ニシテ、

酒屋ノタメニ財產ヲ蕩盡スルト云フコトハ分リ切ツタ話デゴザイマス、ソレ

デ法律ハ決シテ佳良ノ酒ヲ造ル其場所ノミヲ睨ンデ改正スルコトハ甚ダ不當

ノモノト考ヘマス、苟モ法律ヲ制定スルトキハ全國、其物ヲ能ク睨ンデ適當ナル處ニ依ツテ定メルコソ當ヲ得タモノト私ハ信ジマス、ソレ故ニ當ヲ得タカラ濁酒ノコトデゴザイマス、濁酒ハ六圓ノ御修正説モ出テ居マスガ、清酒ガ既ニ吾々ノ見ル通六圓トスル以上ハ、全ク下シテ五圓トスルモ亦相當ト考ヘマス、ソレデ六圓ニスルモ、五圓ニスルモ、其所ハ人各々見ル所ニ從ヒマスケレドモ、六圓ト云フノモ又酷ナノデアル、ナゼナレバ今ノ酒造ノ稅ニ對シテ、引上ゲテ算盤ヲ取ツテ見ルト云フト、濁酒ノ方ハ私共ノ算盤ニ依リマズレバ五割ヲ増ス、五割ヲ増スト丁度五圓二十錢ニ爲ルノデゴザイマスカラ、二十錢ヲ去ツテ左様ニ致シタイ、清酒ノ方モ七割五分ノ増稅ハ其餘リニ一、飛ニシテ、飛上ツタ話デアルカラ、五割ニ致シタイノデゴザイマス、ソレデ此稅率ノ變化ニ依ツテ酒屋ノ盛衰ト云フモノハアルノデゴザイマス、ソレガ彼ノ明治十五年頃デゴザイマス、或ハ六七年デゴザイマシタカ、ソレマデズン、進ンデ來タ酒造家ガ、俄ニ石數ガ少クナツタト云フモノハ、其變化ニ依ツテ到底造ツテ間ニ合ハヌ、無理ニ造ツタ人ハ財產ヲ蕩盡シテ仕舞ツタ、ソレデ段々酒ノ造リ方ガ減シテ來タコトハ、政府ノ參考書ニ見エテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ方法モ定マツテ、漸ク火入ノ加減モ完ク、釀造方モ改良シテ、又今日漸ク造リ高ガ大キクナツタ形デゴザイマス、斯ノ如キコトハ現在既往ニ徴シテ分ルコトデアル、唯今俄ニ七圓トスルト云フコトニナツテ見タナラバ、政府ガ思フ所ノ稅金ガ取レルドコロデハナシ、却テ見込ガ違ヒマシテ、明治十五年、或ハ七八年頃ノヤウナ有様ニ歸著スルコトハ分リ切ツタ話デアル、ソレヨリモ斯ウ云フコトハ、急劇ナコトヲ與ヘズシテシヅクトシテ、歩ヲ進メテ往ツタ方ガ最モ當ヲ得タモノト私ハ信ジマス、ソレ故ニ私ハ深クハ述ベマセヌガ、又後ノ事ハ後ノ條ニ依ツテ述ベマスルカラ、先ヅコ、イラデ止メテ置キマス、御注文通短ク述ベテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 決議ノ順序ヲ一應報道致シマス、田口卯吉君ノ修正案、平島松尾君ノ修正案ト、順序ヲ正シ、ソレカラ原案ニ及ビマス、但書ハ工藤行幹君ノ修正ガアリマスニ依ツテ、是ハ別段ニ委員會ノ修正トシテ、又工藤行幹君ノ修正トシテ決議ヲ探リマス、田口卯吉君ノ修正案ハ、先刻朗讀致シマシタカラ、省キマスル——田口卯吉君ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數
○議長(楠本正隆君) 少數因テ田口卯吉君ノ修正説ハ消滅シマス、次ハ平島松尾君ノ修正、是ハ御手許ニ配付ヲ致シテアリマスカラ、朗讀ヲ省キマスル、右修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數
○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス、因テ平島松尾君ノ修正説ハ可決致シマシタ、次ハ但書委員會ノ修正ニ對スル工藤行幹君ノ修正ガアリマス
○吉本榮吉君(八十二番) 少數ナラ異議ガアリマス
○議長(楠本正隆君) モウ宣告ハ、多數ヲ以テ濟ミマシタ——但書ニ工藤行幹君ノ一圓ヲ二圓トスルノ修正ガアリマス、右ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ工藤行幹君ノ修正説ハ消滅シマス、委員會ノ修正ニ就イテ但書ヲ採リマス
○平島松尾君(百八十四番) 委員長カラノ報告デ、但書ガ「當分ノ内北海道ニ於テハ渡島國一圓後志國ノ内八郡云々」ト書イテゴザイマスガ、是ハ文字ハ違ヒマスガ實ハ同ジナノデアリマスカラ、詰リ私ノ述ベマシタ但書ト、此委員長カラ報告ノ但書トハ同一ノモノト御看做シテ願ヒマス
○議長(楠本正隆君) サスレバ平島君ノ御取消ト見テ宜シイカ
○平島松尾君(百八十四番) 宜イ
○議長(楠本正隆君) 然ラバ委員會ノ修正ニ就イテ決ヲ採リマス委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數
○議長(楠本正隆君) 多數ヲ以テ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ委員會ノ修正トシテ第五條ヲ新ニ挿入致シテアリマス、是ガ議題ト爲リマス、之ニ對シテ田口卯吉君ガ尙又修正案ノ提出ガアリマス
○田口卯吉君(二百二十九番) 簡單ナル修正デゴザイマスカラ自席ヨリ諸君ニ申上ゲマスデゴザイマス、此修正ノ文字ハ斯ウ云フ風ニナリマスノデ「新ニ清酒製造ノ免許ヲ受クル者ハ造石高百石以上ニ非サレハ許可セス」斯ウ云フ文字デゴザイマス、其意味ハ即チ清酒ダケハ百石以上ニアラサレハ許可シナイノデ、濁酒ト此第二種ノ酒ハ一石デモ酒造稅則ニ從ツテ酒屋ニ爲ルコトガ出來ルト云フ趣意デゴザイマス、ナゼ斯ク濁酒ト第二種ノ酒ニ就イテ釀造石數ノ限制ヲシナイカト申シマス、此度自家用料酒ノ造石數ハ委員會ノ説ニ依リマシテモ二石ヲ限ツタノデアル、ソレカラ少數意見ニ依リマスレバ一石マデヲ限ツテアルノデ、而シテ是ヨリ檢査ヲ嚴密ニ致シマシテ、苟モ此石數ノ殖エタモノハ皆酒造稅則ニ從ツテ罰スル、成ルベク自家用料ハ減ラシテ酒屋ニスル、濁酒屋ニナラセルト云フ精神デアルノデ、然ルニ此委員會ノ説ノ如ク五十石以上デナケレバ濁酒屋ニナラセト云フコトデゴザイマス、今マデ地方ノ自家用料家ガ、五十石トカ或ハ十石位造ツテ居リマシテモ、隱密ニ造ツテ居タ者モアルガ、是等ガ酒造稅則ニ從ツテ酒屋ニ爲ルト云フコトハ、此酒造稅則ニ從ツテ五十石以上デナケレバ造レヌト云フコトニナリマスカラ、自家用料ノ特許モ得ラレズ、酒造稅則ニ從ツテ酒屋ニモナラヌト云フ兩方デ禁ズルノデ、詰リ此地方ノ良民ニ向ツテ酒ヲ飲ムナト云フト同ジ事ニナル、此制限ハ元ト清酒ヲ保護スル趣意ニ出デタノデ、濁酒杯ハ御附ケナノデアツテ、濁酒ニ向ツテ制限ヲ設ケルノ必要ハナシ、制限ヲ設ケルト云フ所デ、自家用料ニモナラズ、濁酒屋ニモナラズ、酒ヲ造ルコトヲ禁ズルト云フ非常ナ壓制ノ極ニ陥ル、ソレ故ニ本員ハ清酒丈ニ限ツテ百石以上ニアラザレバ許可セズト云フ制限ヲ設ケテ、其外ニ屬シタモノハ除キタイト云フ趣意デアリマス、是ハドウウ御贊成ヲ請ヒマス

(贊成々々ノ聲起ル)
○草刈親明君(二百二十二番) 私ハ田口卯吉君ニ贊成デアリマス、別ニ理由ヲ述べル必要ハアリマセヌガ、自家用料酒ハ東北地方ノ如キハ最モ造ツテ居リマス、若モ十圓以上ノ納稅者ニアラザレバ——二十圓以上ノ納稅者ニアラズンバ濁酒ヲ製造スルコトガ出來ヌト云フコトニナリマシタナラバ、其ダ差

支ヘルト思フカラ、本條ノ如キハ宜シク田口君ノ修正ノ如クニシタイ、今日ハ税金ノ如何ニ拘ラズ、一般ニ一石以下ヲ造ルコトデアリマスカラ、將來ハサウシナイト云フコトデアルト大イニ不都合デアルト思ヒマスカラ、是ハ今日ノ制度ノ上デ必要ト思ヒマスカラ、田口君ヲ贊成シマス

○平島松尾君(百八十四番) 是ハ第四條ノ修正ノ結果トシテ、第二種ガ第三種ニナラナケレバナラヌト思ヒマスガ、其事ヲ併テ修正ヲ請ヒタイ

○高木正年君(百二十九番) 贊成シマス

○議長(楠本正隆君) 平島松尾君ニ今一應御質シテ致シマス

○平島松尾君(百八十四番) 一種、二種、三種ト分レマシタカラ、此二種酒ト云フモノガ第二種酒ト爲ラナケレバナラヌ

○議長(楠本正隆君) ツレハ自然ノ結果ト致シテサウナリマス

○久保九兵衛君(八十五番) 田口君ノ第五條ニ就キマシテノ説明ヲ聞漏シマシテゴザイマスガ、ドウ云フコトデゴザイマスカ

○議長(楠本正隆君) 修正文ヲ朗讀シテ決議ヲ採リマス

(町田書記官朗讀)

新ニ清酒製造ノ免許ヲ受クル者ハ造石高百石以上ニアラサレハ許可セス

○議長(楠本正隆君) 田口君ノ修正ニ就イテ決議ヲ採リマス、唯今朗讀ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、即チ田口卯吉君ノ修正ニ決シマスル、仍テ原案ノ第五條ハ自然ノ結果トシテ第六條ト爲テ、以下ハ繰下ト爲リマス、此整理ハ議長ニ一任ヲ請ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 次ハ原案ノ第五條、該條ノ第三期トアル其下ニ「十二月」トアルノヲ「翌年一月」ト改メルト云フ委員會ノ修正ガアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メテ修正ニ決シマス、第六條モ原案ノ通

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ原案ノ通ニ決シマス、次ハ第七條、該案ノ但書ニ修正ノ動議ガアリマス——久保九兵衛君

(久保九兵衛君演壇ニ登ル)

○久保九兵衛君(八十五番) 諸君、此原案ノ第七條ノ但書デ「ゴザイマスガ、僅ナ字句ノ修正デ、別段登壇ヲ致ス程ノ必要ハゴザイマセヌ」デスガ、私ハ至ッテ聲ガ小サウゴザイマスカラ、登壇シナイト遺憾ノ事デアリマスカラ……ツレデ七條ノ但書デ「ゴザイマス」但シ清酒ニ限リ査定石數百分ノ一以內ニ於テ洋引減量歩合ヲ定メ是ヲ控除スルコトヲ得」トアル此百分ノ一以內ニ於テ「百分ノ二以內」ト云フコトニ修正致シマス、其理由ヲ單簡ニ御話シ致シタイト思フテ居リマス、政府案デハ御案内ノ通、百分ノ一ト爲ッテ居リマスガ、實際ハ百分ノ三、即チ十石ニ附イテ三斗ト云フ程度デアリマスカラ、先ヅ其中間ヲ取ッテ百分ノ二ト致シマスレバ、至極適當デアルト云フ考ヘデ、斯ノ如ク修正致シマシタ、諸君、ドウカ御賛成アラント望ミマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマスル、久保九兵衛君ノ百分ノ二ト云フ修正ニ……

○草刈親明君(二百三十二番) ツレハ御間違、百分ノ二以內ノ御間違デアリマセウ

○齋藤長輔君(二百九十九番) 一寸確メテ置キタイコトガアル、久保君ニ御質問致シマスガ、百分ノ二以內ト云フコトハ、其二分以內ヲ以テ検査官——收稅官ニ適宜ニ定メテ貫フト云フ譯デアリマスカ

(「政府委員ニ問フベシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 修正文ヲ朗讀致シマス

(町田書記官朗讀)

第七條中第二項ノ但書「石數百分ノ一以內」トアルヲ「二以內」ト修正ス

○議長(楠本正隆君) 久保九兵衛君ノ修正ヨリ決議ヲ採リマスル、久保君ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ久保九兵衛君ノ修正ニ決シマス、次ハ委員會ノ修正ノ決議ヲ採リマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 是亦多數、因テ委員會ノ修正ニ決シマス

○章刈親明君(二百三十二番) 是ニテ本案ノ二讀會ハ終リマシタト思ヒマスガ……

(「マダ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 本案ノ第八條ヨリ第十條マデヲ議題ト爲シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御動議ナキヲ以テ皆確定ヲ報シマス——次ハ本案ノ第十一條、是ニハ久保九兵衛君ノ修正ガアリマス

○久保九兵衛君(八十五番) 單簡ノ修正デアリマスカラ、自席カラ述ベマス、原案ノ十一條ノ中デ「左ノ酒類ニ掛ル未納ノ云々」トアル「未納」ト云フ三字ヲ删除致シマスル譯デ「ゴザイマス」、其理由ヲ單簡ニ「應述ベタイト思ヒマス、此第一項ニ「災害ニ罹リ酒類ノ廢棄ニ屬シタルモノ」ニ「酒類ノ廢敗シテ廢棄ニ屬シタルモノ」ニ「酒類ノ廢敗シタルモノ」ニ「酒類ノ製造ニ供スルモノ」ニ「酒類ノ損傷ニ依リ酒類ノ損失シタルモノ」トアツテ、皆廢棄ノ明文ガ「ゴザイマス」、ツレデ現行法ノ第十六ニハ「検査清酒類納稅以前ニ於テ廢敗シ若クハ天災其他避クヘカラサル事故ニ依リ廢棄ニ屬シタルモノ」ハ直ニ官廳ニ申出テ検査ヲ受ケ其造石稅ノ免除ヲ請フコトヲ得」トアル、然ルニ今度ノ政府ノ提案ニ依ルテ、誠ニ酒稅ハ重イ稅ヲ課スルコトニ爲ッテ居ル、ツレデ酒造稅ハ固ヨリ間接稅デアアル、地租ノ稅ノ如キハ、實地カラ收穫ヲ取上ゲタ所デ稅ヲ納メルモノデアアル、若シツレデ災害ニ罹ラタキニハ免稅ニ爲ッテ居ルコトデアアルガ、獨リ酒稅ノ如キハ現在ノ品物ヲ置キナガラ、稅ハ納メテ仕舞フカラ、其現在ノ品物ガ災害ニ罹ラタキハ勿論免稅シナケレバナラヌガ、未納ノ三字ガアルガタメニ免稅ハナラナイト云フコトニナル、不都合ト思ヒマスカラ、此未納ノ三字ヲ删除シタイト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 久保九兵衛君ノ修正ハ「未納」ノ三字ヲ删除ス、是ニハ

贊成ガアリマセヌ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ決議ヲ採リマス、久保九兵衛君ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ原案ノ通ニ決シマス、次ハ原案ノ十二條ニ「半額」ト云フ「半」ノ字ガ委員會ノ修正テ挿入ニ爲テ居リマス、是ニハ御異議ナイト認メマス

○議長(楠本正隆君) 是ハ御異議ナシト認メマス以下ハ、原案ノ二十一條マデヲ議題ト爲シスル

○議長(楠本正隆君) 是レ亦御動議ナキヲ以テ確定ト認メマス

○議長(楠本正隆君) 暫ク、原案ノ第二十條ヨリ第二十七條マデヲ議題ト爲シマス、

○鈴木充美君(四十一番) 今通告ヲシテ置キマシタガ……已ムヲ得ヌコトガアツテ通告ヲ致シテ置キマシタガ

○議長(楠本正隆君) 書記官長ノ報告スル所ニ依レバ御申込ノ箇所ハ第二十二條ナリト事ナリ

○鈴木充美君(四十一番) 朱書ノ改正ノ二十二條デス——原案ノ二十一條デアリマス、結局非常ナ差支ヲ起スコトデアリマスケレドモ、出來ナケレバ仕方ガナイ、抛ッテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 二十一條ニ實ハ鈴木充美君ガ修正ノ意見ガアラレタ所ガ、原案ノ二十二條ト委員會ノ修正ノ二十二條トノ相違ヲ生ジタト認メマ

○議長(楠本正隆君) 是ハ御一人デモ御異議ガアルヤウナレバ致シ方ガナイ

○議長(楠本正隆君) 是ハ御一人デモ御異議ガアルヤウナレバ致シ方ガナイ

○議長(楠本正隆君) 是ハ御一人デモ御異議ガアルヤウナレバ致シ方ガナイ

○議長(楠本正隆君) 是ハ御一人デモ御異議ガアルヤウナレバ致シ方ガナイ

○議長(楠本正隆君) 是ハ御一人デモ御異議ガアルヤウナレバ致シ方ガナイ

委員會ノ修正ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 別ニ御動議ナキヲ以テ決議ヲ採リマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 大多數——以下ハ原案ノ三十三條マデヲ議題ト爲シマス——御動議ナキヲ以テ可定ト認メマス、原案ノ三十三條即チ修正案第三十四條ノ次ニ第三十五條トシテ委員會ノ挿入ノ新條ガアリマスルニ依ッテ之ヲ議題ト爲シマス、是ニ就イテ又修正ガゴザイマス——高木正年君

○高木正年君(百二十九番) 此三十五條ノ委員會ノ修正ノ文字ノ中ニ少シ修正ノ字ヲ加ヘタク思ヒマス、三十五條ノ修正案ノ「府縣及市町村ハ此稅法ニ依リ造石稅ヲ課スル種類ニ對シ」ノ下ニ「特例アルモノヲ除キ」ト云フ字ヲ入

レタイト私ハ思ヒマス、斯様ナ發議ヲ致シマスノハ、東京市ニ輸入稅規則ト云フモノガアル、市區改正ノタメニ東京市ニ限ッテ特ニ輸入ノ酒ニ向ッテ稅ヲ取ルト云フコトガ、今日ノ許サレテ居ル法律デゴザイマス、昨日此事ニ就

イテ質問モゴザリマシタガ、此條項ガ修正ニナリマス以上ハ、ドウシテモ「特令アル」ト云フ字ヲ入レマセヌト、今日マデ行レテ居ル所ノ勅令ト矛盾スル

ヤウニナツテ參ルト思フ、東京市ノ輸入規則ハ一種ノ地方稅規則ト同シヤウナモノデ、地方稅規則ハ三十五條ニ支配サレテ地方稅トシテ殊更ニ酒ニ稅ヲ

課スルコトノ出來ナイト云フ規定ノアル以上ハ、東京府モ此法律ノ下ニ立ッテ居ルコトガ出來ナイト云フ疑問ガ生ズルコトデゴザイマス、斯様ナ次第デ

ゴザイマスカラ「特令アルモノヲ除キ」ト云フ文字ヲ入レテ置キマセヌト、安全ニ東京市ノ輸入ニ對スル酒稅ヲ取ルコトガ出來ナク相成ルノデス、是ガ私

ノ修正ノ文字ヲ加ヘタ理由デゴザリマス

○目黒貞治君(二十五番) 諸君、格別此登壇シテ演說スル程ノ事柄デハゴザイマセヌケレドモ、何分私ノ自席ハ一方ノ隅デスカラ、滿場ニ聽取レナイト

モ云ヒ難イカラ、簡單ニ此反對ノ理由ヲ述ベマス、此第三十五條ヲ私反對スル所以ノモノハ、酒造家ト雖モ矢張此町、村——市、町、村ニ住居スル以上

ハ必要ノアル場合、法律ノ許ス限内町村稅ノ課サレタトキニ在ッテハ無論出サナクバナラヌシ、又出スハ當然デアリマス、此地方ニ住居シテ居ル所ノ義務、又其地方ニ居ルト云フト此業ニ依ッテ此營業……又地方ノ公共ノ物ヲ

利用スルノデアリマス、ソコデゴザイマスカラシテ、此三十五條ノ削除シテ以テ市、町、村ガ必要ノ場合ニアツテハ、矢張府、縣、郡、市、町、村會ノ決議ヲ以テ此附加稅ヲ課スルト云フ途ヲ開イテ置カナケレバナラヌト思ヒマ

ス、併シ今日マデノ所ハ如何デアアルカト云フトキニハ、禁シテハナイケレドモ實際ハ課シテナイカラ故ニ、斯ノ如キ簡條ヲ設ケテ寧ロ課サヌト云フ方ニシテ置イテモ支ヘガナイジヤナイカト云フ論モアリマスガ、成ル程今日マデ

ノ所ハ是等ノモノマデ課スルノ必要モナカッタカモ知ラヌケレドモ、今後ニ至ッテハ必ズナイト云フコトハ出来マセヌノミナラズ、是迄營業稅ハ府縣稅デアリマシタノガ、今後之ヲ國稅ニ移シテ仕舞フト云フコトニ爲リマスルト云フト、地方ノ稅源ト云フモノハ、一層縮少シテシマヒマス、而シテ府、縣、郡、市、町、村ト雖モ時勢ノ進歩世ノ中ノ即チ進デ往クニ從ッテ、此費用モ又多ク掛カルト云フコトハ當前ノ事デアアル、然ル時勢ニ傾イテ居ル時勢デアアルニモ拘ラズ、今後財政上ノ已ムヲ得ザルヨリ已ムヲ得ズ是マデ府縣ノ稅源デアッタ所ノモノモ、當期議會ニ於テ國庫ニ移スト云フコトニナリマシテシテ見ルト今後地方ノ稅源ハ縮小シ切ッテ、地方ニ於テ今後ノ事業ト謂ヒ、又事業ニ伴フテ支辨スル金ト云フモノハ、益々多クナッテ往カナケレバナラヌ、然ル場合ニ爲ッテ此三十五條ヲ以テ之ニ附加稅ヲ課スルコトハ出来ヌト云フテ禁ズルノハ、甚ダ其當ヲ得ヌト思ヒマス、ノミナラズ斯ノ如キ事ヲスルト諸君、酒造稅ヲ此案ニ於テ從來四圓ノモノヲ七圓ニスルト云フカラシテ、是等ノモノヲ課スレバ甚ダ辛イデハナイカト云フ方カラ、是等ノモノハ是迄マデ法律デ禁ジナクテモ、事實ニ於テナカッタモノデアアルカラ、是丈ノモノヲ禁ジテ置イテヤッテモ宜イデハナイカト云フ、所謂酒造家ニ對スル御土産ト云フモノニ三十五條ハ設ケタノデアリマセウ、併シ是マデノ所ハ唯今述ベマシタ如ク實際ハナカッタガ、今後ハナイト云フコトハ出来ヌ、ツコデ此酒造稅ナルモノハ七圓ヲコ、ニ今後ハ課スルト云フコトニハナリマスルケレドモ、裏面ニ於テ町村稅ヲ許シテ置クトナレバ、五圓ノ稅ガ六圓ノ稅ニナルト云フ結果ニ至ルダラウト思ヒマス、ツレカラ酒造稅ニ對シテハ痛ク諸君ハ論ゼラレマシタガ、私ガ諸君ノ論ズル如ク此酒造家ハ此位ノ稅ヲ課セラレテモ、今後ハ困難ハシナイト云フコトヲ私ハ考ヘテ居リマス、何故カトナレバ、唯今マデ納メ來ッタ所ノモノハ、四圓程デアリマス、此四圓ノ稅ノ稅則ガ改マツタ場合ノ模様ヲ御話スルト、先ヅ米ノ安イ酒ノ安イト云フ一惡ルイ酒ノ方カラ例ヲ擧ゲテ御話シマスガ、或ル地方デ當時ハ米ハ一石幾ラカト云フトキニ、四圓ハシナイ、三圓幾ラノ米デ、三圓幾ラノ米ノ時ニ在ッテ四圓ノ稅金ヲ——米ヨリ高イ稅金ノ額ニ爲リマシタ、其場合ハドウ云フモノデアッタカト云フト、矢張ツレデ酒造シテ往ッテ酒造家ハ、相當ノ利益ヲ取ッテ往ク、今日大藏省ノ調ヤ收稅吏ノ調デ見ル時ニアツテ、酒造家ノ賣買稅ヲ附加スル利益ハ是ヨリナイト云フコトハ、參考書ニ出シマシタケレドモ、酒造家ガ彼ガ適宜ニ官吏ニ出スモノ、官省ハ出スト云フコトデ拵ヘタモノガ、證據ニシテ居ルノデアリマス、其裏面ノ能ク調ベテ御覽ナサイ、斯ノ如キモノデナイ(「簡單々々」ト呼フ者アリ)ツレカラ推シテ今日ノ比較ヲ取ッテ見ル時ニ於テハ、今日ノ米ハ幾ラシマスカ、酒ハ幾ラシマスカ、シテ見ルト今後ノ所ニ至ッテハ彼ノ當時ノ場合カラ見ルト、今日七圓ニ之ヲ改メテモ決シテ酒造家ハ困難スルモノデアナイノミナラズ、世ノ中ガ進歩スルニ從ヒ、此世ノ中ガ進ムニ從ッテ贅澤品ノ多ク用ヒラル、ト云フコトデ、又諸君ノ御承知ノ事デアアル、故ニコ、ニ自家用ヲ許スカ、濁酒ヲ許スカ、清酒ヤ立派ナモノガ出來ル處ニハ、私ハ格別影響サレナイ考デアアルカラ、斯ノ如キ御負ケ文ノ三十五條條ヲ加ヘル程ノ心配ハナイコト、私ハ認メマスカラ、彼是三十五條ヲ削除致シタイト云フ意見デアリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

(「修正文ガ分リマセヌ」ト呼フ者アリ)

○鈴木充美君(四十一番) 先刻高木正年君ガ御述ニナリマシタ修正ニ贊成ヲ致スノデアリマスガ、詰リ此三十五條ノ趣意ハ高木正年君ノ御述ニナッタノト同シ趣意デアアルノデアリマス、アノ文章ガ這入レバ事ガ明瞭ニ爲ルト云フダケノ事デアリマスカラ、其趣旨ヲ以テ贊成ヲ致スノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 修正文ノ朗讀ヲ致シマス

第三十五條 府縣及市町村ハ此稅法ニ依リ造石稅ヲ課スル酒類ニ對シ特令アルモノヲ除キ府縣稅若クハ地方稅及市町村稅、町村費ヲ課スルコトヲ得ス

○議長(楠本正隆君) 高木正年君ノ修正案ニ就イテ決議ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 高木君ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ修正通決定シマス、以下ハ附則全部ヲ議題ト爲シマス

○議長(楠本正隆君) 御動議ナキヲ以テ原案ノ通決定ト認メマス

○草刈親明君(二百三十一番) 讀會ヲ省略シマシテ直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ……

○議長(楠本正隆君) 本問題ノ如キハ地方ニ大關係ヲ持ッテ居リマスカラ、菟蓐版等ヲ以テ議員ヲ強迫セントスルモノアルヲ見ルニ至リマシタ程デアリマス、仍ッテハ讀會ヲ省略シテ直チニ三讀會ヲ開カンコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議ナシト認メマスカラ、直チニ三讀會ヲ開キマス、全部ヲ議題ト爲シマス

酒造稅法案

○鈴木充美君(四十一番) 原案ノ二十一條ニ字句ノ修正ヲ加ヘヤウト思ヒマス、原案ノ趣意ト少モ變リマセヌ、原案ノ趣意ニ依リマスレバ、酒類ヲ製造シタモノヲ罰スルト云フ趣意モアリマス、ソコヘ「唯酒類製造用ノ爲メ酒母若クハ醪ヲ云々」ト云フコトガアリマスガ、ソコヘ「酒類」ト云フ字ヲ二字加ヘナケレバ、自家用酒ノ第十條ニ差支ヲ起スノデアリマス、趣意ハ少モ變リマセヌ、唯委シク云フダケノコトデ、免許ヲ受ケズシテ「酒類」ト云フ二字ヲ此處ニ加ヘルコトニ——趣意ハ變リマセヌガ、唯字句ヲ入レル丈デ、三讀會デ勿論出來ル積デアリマス

○議長(楠本正隆君) 衆議院規則ノ九十九條但書ノ中ニ意味ノ修正ハ出來ナイケレドモ、議案中ノ前後ノ衝突ヲ來シ又ハ現行法律ニ抵觸スルコトガアルト認ムル時ハ、三讀會ニ於テ修正ヲ許スト云フコトガゴザリマス、唯今ノ動議ハ右ニ該當スルヤ否ヤト云フ一ツノ考慮ヲ要スベキコトデアリマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(「修正文ガ分リマセヌ」ト呼フ者アリ)

第三讀會

○議長(楠木正隆君) 修正文ヲ朗讀シマス

第二十三條 免許ヲ受ケシテ酒類製造用ノタメニ云々

○議長(楠木正隆君) 鈴木充美君、モウ一應御説明ヲ請ヒマス、登壇ヲ促シマス

(鈴木充美君演壇ニ登ル)

○鈴木充美君(四十一番) 分ツタ積デゴザイマスルガ一寸申シマス、免許ヲ受ケズシテ酒類ヲ製造シト云フ意味ニナルノデス、アスコニ「酒類製造用ノタメ酒母若クハ醗ヲ製造シ」ト入レルノデアル、サウ云フヤウナ法律ノ書方ハ随分他ニモ澤山アルト思ヒマスカラ、酒類又ハト云フ字ヲ書イテ、或ハ能ク分ルト云フナレバソレデモ宜シイ、私ハ酒類デ十分宜カラウト思ヒマス

○早川龍介君(二百一十一番) 免許ヲ受ケズシテ酒類ヲ製造シ、又ハ酒類製造用ノタメニ……

○鈴木充美君(四十一番) 其意味ニ十分是デ通ズルト考ヘマス

(「マツト明瞭明確ニ」ト呼フ者アリ)

○鈴木充美君(四十一番) 原案ノ二十一條新二十二條デアリマス「免許ヲ受ケズシテ酒類製造用ノ爲メ酒母若クハ醗ヲ製造シ又ハ他人ヨリ云々」ト、物ノ重ナル時ハ必シモ「又ハ」ト云フ字ヲ附ケナケレバナラヌト云フ文法デハナカラウト思フ、若シソレガ不都合デアラナラバ、他ノ御修正方出ルナレバ免ニ角、私ハ之ヲ唯修正説トシテ提出シテ置キマシタ

○星亨君(八番) 是ハドウデスカ「又ハ」若クハ「杯」ト云フ字ノ事ハ議長ニ於テ御極メヲ願ヒタイ

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠木正隆君) 鈴木君ノ意見ハ意味ニ變ハルコトハナイノデス、全ク文字ヲ重ネテ原案ノ趣意ヲ明ニスルト云フニ外ナラヌコトデアアル、三讀會ニ於テハ文字ノ更正ハ明ニ許シテアリマス、ソレデ是ハ規則ニ差支ナイト議長ハ認メマス、此賛否ノ如何ハ議場ノ決議ニ問ヒマス

(「賛成々々」ト呼フ者アリ) 異議アリ異議アリ「ト呼フ者アリ」

○議長(楠木正隆君) 免ニ角決議ヲ採リマス、鈴木君ノ文字ノ更正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠木正隆君) 多數ト認メマス、其他ハ御動議ナキヲ以テ全部確定ヲ報ジマス、次ハ日程ノ第五、酒税法案ノ二讀會ヲ開キマス、是レ亦朗讀ヲ省キマシテ先ヅ第一條ノ議題ニ爲シマス、此第一條ニハ少數者ノ修正ガアリマス、此少數者ノ意見ハ豫テ印刷ノ上ニ諸君ノ御手許ニ配布シテアリマス、定數ノ賛成者アルヤ如何ノ事ヲ確メマス

第五 自家用酒税法案(政府提出)

第二讀會

○平島松尾君(百八十四番) 私共カラモ此第二條ニ修正ヲ出シテ置キマシタ

○議長(楠木正隆君) 唯今ハ第一條ガ問題デアリマス、少數者ノ意見ヲ賛成スル通告ガアリマス、反對ハアリマセヌ、高木正年君ハ登壇ニナリマスカ

○高木正年君(百二十九番) 千葉サン……

○千葉胤昌君(百三番) 反對ガナケレバ宜シウゴザイマス

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠木正隆君) 少數者ノ意見ニ定數ノ賛成ガアツテ問題トナリマシタ、因テ決議ヲ採リマス、少數者ノ意見ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數ト認メマス

○議長(楠木正隆君) 多數ト認メマス

(「少數ナリ」ト呼フ者アリ)「多數ナリ」ト呼フ者アリ「若シ之ガ多數ナレバ異議ノ申立ヲ爲シマス」ト呼フ者アリ

(「少數々々」ノ聲起ル)

○議長(楠木正隆君) 異議ガアレバ點呼ヲ命ジマス——閉鎖ヲ命ズ——是ヨリ點呼ヲ始メマス——少數者ノ意見ニ就イテ點呼ヲ爲シマス

○議長(楠木正隆君) 町田書記官氏名ヲ點呼シ林田書記官可否ヲ應呼ス

○議長(楠木正隆君) 氏名點呼ノ結果ヲ報道致シマス

總數 百八十七

可トスル者 八十六

否トスル者 百零一

因テ少數者ノ意見ハ消滅ニ爲リマシタ——他ニ御動議ナキヲ以テ原案ノ確定ヲ報ジマス、次ハ第二條此第二條ニハ少數者ノ意見、平島松尾君ノ修正、委員會ノ修正ト三通リアリマス

○平島松尾君(百八十四番) 是ハ簡單ナ事デゴザイマスカラ此處カラ申述ベマス、原案ハ自家用酒製造免許云々ノ末文ニ三石以下トズトゴザイマス、ソレヲ二石以下ト制限ヲ附ケルノデゴザイマス、ソレデ三石マデモ四石マデモ造ルト致シマス丈ハ無論宜シウゴザイマスケレドモ、併ナガラ清酒ノ方ノ鈞合モゴザイマスカラ、ソレデ制限ヲ二石ト限ルヲ以テ適當ト認メルノデゴザイマス

○議長(楠木正隆君) 委員會ノ但書ニハ反對ノ御意見デアアルノデスカ

○平島松尾君(百八十四番) サウデゴザイマス

○議長(楠木正隆君) 少數者ノ意見ニハ定規ノ賛成ガ……

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠木正隆君) アルト認メマス、少數者ノ意見ヨリ決ヲ採リマス、ソレヨリ平島松尾君ノ修正ニ及ビマス、少數者ノ意見ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠木正隆君) 少數ト認メマス、因テ少數者ノ意見ハ消滅シマシタ、次ハ平島松尾君ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠木正隆君) 是亦少數ト認メマス、因テ消滅シマシタ、次ハ委員會ノ修正、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數ト認メマス

○議長(楠木正隆君) 多數ト認メマス

(「少數」ト呼フ者アリ)「多數」ト呼フ者アリ

○議長(楠木正隆君) 是ハ多數

○天竺伊左衛門君(二百六十八番) 異議ヲ申立テマス

〔贊成々々〕ト呼フ者多シ
〔異議アリ〕ト呼フ者アリ〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 議長ハ此前ノ分ニ徴シテ餘程慎重ヲ要シタ積デア
○天竺伊左衛門君(二百六十八番) 異議ノ申立ヲシテ、贊成者ガ澤山アリマス

○議長(楠本正隆君) 異議ノアル以上ハ氏名點呼ヲ致シマス——閉鎖——
諸君、委員會ノ修正ニ贊成、反對ノ點呼ヲ始メマス

〔町田書記官氏名ヲ點呼シ林田書記官可否ヲ應呼ス〕
○議長(楠本正隆君) 點呼ノ結果ヲ報シマス

總數百七十二

可トスル者 九十九
否トスル者 七十三

因テ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第三條ニ移リマス三條ニハ少數者ノ意見、平島松尾君ノ修正、島村成達君ノ修正、委員會ノ修正、四種ノ修正ガアリマス、其中ニ島村成達君ノ修正ハ配付ニテ居リマセヌニ依ッテ、朗讀ヲシテ贊成ノ有無ヲ質シマス

〔佐脇書記官朗讀〕

自家用酒稅法律案中左ノ通り修正ス

第三條 自家用酒ノ製造ヲ爲ス者ニハ毎年度製造稅金二圓ヲ課ス

但原料ニ穀類ヲ用非サレバ半額トス

○議長(楠本正隆君) 定數ノ贊成ガアリマスカ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 定數ノ贊成者ガアルト認メマス、少數者ノ意見ニモ亦定數ノ贊成者ガアリマス——平島松尾君

〔平島松尾君演壇ニ登ル〕

○平島松尾君(百八十四番) 一寸一言ダケ述ベテ置キマス〔簡單々々〕ト呼フ者アリ此修正案ノ御配付ニテ居リマスモノヲ改メナケレバナリマセヌカラ、一ツ御覽ヲ願ヒマス、デ、唯今第二條ノ修正ガ委員長ノ報告通ニナリマシタノデ、此意味ハ詰リ吾々ガ修正セントスル意味ト何モ變ラヌノデアリマシタノデ、唯文字ノ配列ガ違テ居ッタノデアリマスガ、二條ガ斯ク修正ニナリマシタ以上ハ、第二條ヲ斯ク御修正ヲ願ヒマス、第一項デスナ——第一項ガ前條但書ニ該當スルモノ金二圓〔二項デハアリマセヌカ〕ト呼フ者アリ〔二項ト別レマシテ、一項ガ前條但書ニ該當スルモノ金二圓〕トソレカラ、一項ニ一ツツツ並ベテアリマスカラ……ソレカラ、一項ニ爲ッテ居リマス所デ、唯「トアリマスカラ、之ヲ「ト修正致シテ置キマス、ソレカラ是ハ少シ意味ガ十分致シマセヌノデ、第五條モ一ツ修正ヲ致シテ置キマス〔第五條第一號左ノ如ク修正ス〕斯ウ御修正ヲ願ヒマス〔第三條第二號制限以上ノモノ〕此直接國稅二十圓以上ヲ納ムルモノト云フノヲ〔第三條第二號制限以上ノモノ〕ト斯ウ修正致シマス〔モウ一應願ヒマス〕ト呼フ者アリ〔第三條第二號制限以上ノモノ〕修正ノ意旨ト少シモ意味ノ變ッテ居リマセヌノデ、簡單ト云フ御注文モアリマスカラ、別ニ委シイコトハ述ベマセヌノデアリマス、既ニ自家用ノ今日ニ已ムベカラザルコトハ、折田君ガ明晰ニ御演說ニナッテ居リマス、此趣意ヲ以テ自家用ノ今日ニ已ムベカラザル

コトハ明ナコト、考ヘマスカラ、其段ハ述ベマセヌデアリマス〔千葉胤昌君「地租」二十圓ニ止メルト云フ所ヲ委シク述ベ給ヘト述フ〕唯一言述ベテ置キマシタイ事ハ、自家用ヲ許セバ、清酒ノ大變減石ヲ來シマシテ、收入ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フノガ、自家用ニ反對スル所ノ主ナル議論デゴザイマス、此事ハ一應申上ゲテ置キマスガ、私共ノ考デハ、縱令自家用ヲ許シマシテモ、反對者ノ言フガ如キ影響ハ及サナイト云フ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソコデ反對者ガ此證據立ヲ致シマスルニ、明治十五年ニ清酒ノ二圓ノ稅ガ四圓ニナッタ、倍數ニ爲ッタ時分、即チ十六年度カラハ大變石數ガ減シタ、而シテ一方ノ自家用ノ員數ハ之ト反對シテ、非常ナ増加ヲ致シタ、是ガ所謂清酒ニ對シテ自家用ヲ許セバ減石スル證據デアルト云フ、反對ノ意見ヲ御述ニナリマシテゴザイマスケレドモ、併シ私共ノ考デハ左様ナモノデアナイト考ヘルノデアリマス、ソレデ十五年ト十六年ト差ノアリマシタコト、及其年ヨリ自家用料ガ大變増加ヲ來シタト云フコトヲ申シマスレバ、成ル程十六年ノ酒造稅則ノ結果トシテ減石ヲ致シタコトニ相違ナイ、減石シタニハ相違ゴザイマセヌケレドモ、是ハ自家用ヲ許シタト云フニ就イテ、自家用ノ許シガ一方ニ在ルカラ減シタト云フノガ重モナル理由デハ決シテナイト思フノデアアル、是ハ酒造稅ガ高クナッタト云フ原因デアッテ自家用ノ一方ニ特許ガアルカラ、斯ノ如ク減シタト云フノデハ決シテナイノデアアル、稅ガ高クナッタカラ、總テ地方ノ小資本ノ者ハ營業ガ出來ナクナッタ故ニ、廢業ヲナス者ガ生ジテ來タカラ、清酒ノ上ニ減少ヲ致シテ來タト云フノハ、大事ノ原因デアアル、サウスレバ、特許ノアル自家用ノタメニ大原因ヲ爲シタモノデアナイト云フコトハ私ハ考ヘルノデアアル〔簡單々々〕ノ聲起ル今少シ聽イテ呉レ給ヘ、ソレカラ清酒家ニ對シテハ甚ダ氣ノ毒デアリマスケレドモ、酒造稅ガ十六年ニ倍ニ爲ッタガタメニ、廢業ノタメニ減石シタバカリデハナイ、此時ヨリ多少ノ密造ノ弊ガ行レタデハナイカト思ヒマス〔簡單々々〕ト呼フ者アリ〔所謂二圓ニ對シテ四圓ニ爲ッタニ就イテ〕〔簡單ニ願ヒマス〕ト呼フ者アリ〔密造ノ弊ガ行レタト云フコトモ一ツノ減石ノ原因デアアル、ソレカラ又酒ノ稅ガ高クナッタト云フコトノタメニ、此影響トシテ一般ノ人ガ酒ヲ濫用シナイト云フコトモ一ツノ減石ノ原因デアラウト思ヒマス、二十七年八年ノ戰爭ノ際ニ當ッテ、此奢侈物ノ影響ヲ致シタト云フ如キ實例ト同ジコトデ、高クナッタガタメニ此人情ノ感情トシテ、普通ノ感情トシテ、矢張酒ヲ用ルノニ注意スルト云フ多少ノ影響ヨリシテ、詰リ此酒ノ上ニ減石ヲ來シタコトデアラウト考ヘタノデアアル、最モ自家用モ多少ハ影響ヲ致シテ居ルニ相違ナイ、稅ガ高クナッタガ故ニ自家用ノアルガタメニ減額ヲシナイト絕對的ニ言フノデアリマセヌ、矢張自家用モ減石ノ一ツノ原因デアルト云フコトハ、私モ許スノデアアル、斯様ナモノガ減石ヲ爲シタ所ノ原因デアッテ、清酒家即チ反對家ノ人々ノ論ズル如ク自家用料ノ特許ガアルカラ、此十六年ト十五年ノ間ニ百万石以上ノ減石ヲ來シタト云フコトハ、甚ダ間違ッタ所ノ議論デアッテ、決シテ事實ハ左様ナモノデアナイト私ハ信ズルノデアリマス、ソレ故ニデ、此清酒モ〔長イト贊成シマセヌ〕ト呼フ者アリ〔十六年以來段段回復ヲ致シテ、當年ニ至リマシテハ、四百萬石即チ既ニ十五年以前ニ復シテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ自家用モ段々年々ニ復シテ居ルノデアリ

ザイマス、ソレデ清酒ト自家用ト云フモノハ、反對論ノ言フガ如キ關係ヲ持ッテ居ルモノデナイト云フコトハ、是マデノ統計ガ明カニ示シテ居ルノデア
 ル、ソレカラ十六年カラ今日マデ來ル間ニ俄ニ回復シタノデアハナイ、段々
 段々ニ回復ヲ致シテ居ルノデ、是ニハ色々ノ理由ガアツテ、外國ノ酒モ這入ッ
 テ居リマスルシ、又びる葡萄酒ノ如キモ、十六年以來今日マデト云フモノ
 ハ、非常ナ増加ヲ來シテ居ルノデアアツテ、是等ノ原因ノメニ此清酒ト云フ
 モノモ元ノ高ニ復スルコトガ出來ナイト云フ實況ニ相違ナイノデゴザイマシ
 テ、自家用ノアルメニ斯ノ如キ形勢ヲ來シテ居ルト云フコトハナイト私ハ
 信ズル者デゴザイマス、故ニ此度酒造稅ニ對シテハ、斯様ノ修正即チ此御配
 付致シテ置キマシタ通ノ修正ニ致シタイト考ヘルノデアアル、一體ヲ云フナレ
 バ無制限ニ製造シタイト云フノガ希望デゴザイマスケレドモ、併ナガラ今日
 ノ場合デゴザイマスカラ、忍ンデ此二十圓以下ト云フマデニ制限ヲ擴張シ
 テ、自家用料ヲ許シタイト云フ精神デゴザイマス、ソレデ長イ、ト云フ御
 注文モゴザイマスケレドモ、計算ヲ御話センケレバナラヌ(計算ハ無用)簡
 單々々ト呼フ者アリ)斯ウ云フ計算ニスレバドウ云フ計算ニナルカト云フコ
 トヲ申サナケレバナラヌ(簡單々々)分ツテ居ルト呼フ者アリ)宜シイ、ソ
 レデハ計算ハ一言デ言フナレバ、私ノ考ヘマサウニナルナラバ殆ド八十万
 圓程ノ收入ヲ増ス計算ニナツテ居リマス、ソレデ清酒ニ對シテ減石ヲ來スト
 云フコトハナイノミナラズ、自家用料ノ制限ヲ斯ノ如ク廣メタガタメニ收入
 ヲ増スト云フナレバ、國庫ニ取リマシテモ是ヨリ經濟ノ事ハナイノデアリマ
 ス、願ハクハ此修正案通り御贊成アラント希望シマス

○久保九兵衛君(八十五番) 一寸平島君ニ御尋致シタウゴザイマスガ、明治
 十五年ニ二圓ガ四圓ニ爲ッタガタメニ、現在此營業人ハ六千四百二十八ト云
 フモノガ減シテ居ル是ハ稅ガ高クナツタガタメニ減シタノデアアルカ否ヤト云
 フコトヲ御尋シマス、ソレカラモウ一ツ御尋致シマス、此第三條ノ直接國稅
 二十圓以下ヲ納ムル者トアルガ、此二十圓以下ノ地租ヲ納ムル者ハ極貧民デ
 アルト云フ考デ、特別ノ保護ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ平島君ノ御考デゴ
 ザイマスガ、ソレヲ一ツ御尋致シマス

(無用々々)ノ聲起ル

○平島松尾君(百八十四番) 最初ノ御答辯ハ是ハ酒造稅ガ増加シタコトガ一
 ツノ原因デアルト申述ベテ置キマシタガ、其通デアリマス、ソレカラ二ツノ
 御問ハ是ハ敢テ貧民ト云フ積リデハゴザイマセヌ、二十圓ト云フノガ先ヅ中
 農ト認メタノデアリマス、所謂中以下ノ者ニハ斯ノ如キ許シヲ與ヘルト云フ
 考デゴザイマス

○星亨君(八番) 一寸質問ガアリマス、二十圓以上ヲ納メル人ハ日本デ幾人
 アリマスカ、十五圓以上ノ者ハ五十万ダカラ、三十万位ノモノデスカ

○平島松尾君(百八十四番) ドウモ其統計ハ調べテ居リマセヌ

○星亨君(八番) サウスルト僅カデアルト考ヘマスガ、寧ろ御取リニナルナ
 ラ總テナイヤウニシタラ贊成スルカ知レヌ、眞ニ僅ノ人ガ出來ナクナルヤウ
 ナコトナラドウデスカ

○平島松尾君(百八十四番) ドウモ承ラナイ方ガ宜シイト云フ積

○星亨君(八番) ソレデハ贊成ハ出來ナイ

○議長(楠本正隆君) 島村成達君
 (島村成達君演壇ニ登ル)

○島村成達君(百二十四番) 私ハ大體少數意見ニ同意ヲ表スルモノデア
 ル、唯少數意見ノ第三條ニ但書ヲ加ヘタイト云フ意見デアリマス、其但書ハ
 何シカト云フト、但シ「原料ニ穀類ヲ用井サルモノハ半額トス」ト云フ修正ヲ
 致ス積デアリマス、此大體ノ趣意ハ原料ノ種類ニ依ッテ稅金ニ等差ヲ立テ
 イト云フノデアリマス、此燒酎等ノ原料ニ用ヒルモノハ、極宜シイモノガア
 リ、又極粗惡ノモノヲ以テ原料ニ使用シテ燒酎等ヲ造ルモノガアリマスガ、
 甚ダ其原料ノ中ニハ餘程精粗ノ度ガ——間ガ遠クシテ或ル地方ニ於テハ純粹
 ナル米ヲ以テ製造スル所ガアリ、又或ル地方ニ依テハ麥、粟等、又ハ粗惡ナ
 ルモノニ至ッテハ芋ナリ、或ハ馬鈴諸其他木ノ實ヲ以テ製造スル所ガアリマ
 ス、又同シ芋ノ燒酎ト云フテモ、其燒酎ノ中ニハ、或ハ麴ナリ何ナリガゴザ
 イマスガ、其他麥等ヲ用ユルモノガアリマスガ極ク其中ノ粗惡ナルモノニ
 至ッテハ、芋或ハ馬鈴諸等ニ對シテ、其混和スル麴ニ何ヲ用ユルカト云フ
 ニ、或ハ米ノ粕トカ、或ハ麥ノ糠等ヲ麴トシテソレニ芋ヲ混和シテ燒酎ヲ造
 ル地方ガアル、斯ル粗惡ナルモノヲ以テ純粹ナル米ヲ以テ製造スルモノト同
 一ニ稅ヲ課スルノハ、不當デアルト云フノ意見デアリマス、又其原料ニ依ッ
 テ如何ナル結果ニ區別ガアルカト云フニ、米或ハ麥等ヲ以テ製造スルモノ
 ハ、代價ト云フテモ或ハ三十錢以上四五十錢スル位ノモノガ出來マスガ、極
 粗惡ナル原料ヲ以テ製造スル所ノモノハ、僅カ八錢十錢一升ノ代價ニ於テ
 セヌ位ノモノデアアル、斯ルドウモ等差ノアルモノヲ以テ、同一ノ稅ヲ課スル
 ト云フコトハ不當デアルト考ヘマス、又若シ之ヲ同一ノ稅ヲ課スルトシテ、
 今茲ニ提出ニナツテ居ル二圓ノ稅ヲ課スルコトニナルト、忽チ地方ノモノハ
 困難ヲスルノミナラズ、實ニ違犯者ヲ生ジテ容易ナラヌ場合ニ陥ラウト思ヒ
 マス、固ヨリ是ハ酒屋デモアツテ買フコトノ出來ル地方デアレバ未ダ宜シ
 ゴザイマスガ、ナカクサウ云フ譯ニ往カズシテ、酒屋ヲ設ケルニモ設ケラ
 レヌ所ノ地勢上已ムテ得ヌ所ノ地方ガアリマシテ、如何ニ金ヲ以テ燒酎ナリ
 或ハ酒ナリヲ買フト云フテモ、買フコトノ出來ヌヤウナ場合——地方ハ此法
 案ノ如ク可決セラレタ時ハ、酒ヲ飲ムコトヲ禁ゼラレタト同様ノ場合ニ爲ル
 ノデゴザイマス、ソレデソレ等ノ地方ニ對シテ或ハ其祝ナリ祭ナリ、其他已
 ムテ得ズ酒ヲ用ヒナケレバナラヌ場合モ、買フ場所モナク飲ムコトノ出來ヌ
 ト云フ場合ニ陥ル、果シテソレデ飲マズシテ濟ミマスルナラバ宜シイノデア
 リマスルガ、自然今日ノ習慣トシテカラニ、矢張密カニ製造スルヤウナモノ
 ガ出來ルヤウニナツテ、犯罪者ガ多ク生ズル場合ニ爲ラウト本員ハ信ズル、
 實ニ是ニ至ッテ此法律ノメニ田舎ノ農民等ニ在ッテハ、世ノ中ノ分ラヌモ
 ノガ密カニソレ等ノ所爲ヲ爲シテ、法律ニ背クモノガ續々出來ルヤウニナツ
 ナラバ、實ニ吾々議場ニ立ツモノハ之ヲ其儘ニ見過スト云フコトハ出來ヌ譯
 デアラウト思ヒマス、ソレデ此修正ヲ提出シタ所以デゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 決議ノ順序ヲ御報道致シマス、島村成達君ノ修正、少
 數者ノ意見、平島君ノ修正、委員會ノ修正

○平島松尾君(百八十四番) 第三條ノ修正、即チ第一項、第二項、其第一項
 ノ方ハ所謂委員會ノ修正ト一ツデアリマス、即チ之ニ贊成スル積デアリマス

カラ、最初ノ私ノ修正トシタノハ取消シマス、委員長ノ報告ノ決議ヲ採ル時
分ニ第一項ハ賛成スル意見デアリマス

○議長(楠本正隆君) ツレハ少シ混雜ヲ致シマス
○平島松尾君(百八十四番) 第一ヲ取消サヘスレバ、ツレハ委員長ノ報告通
ナレバ宜シイノデス

○草刈親明君(二百三十二番) 平島君ハ三條ノ第一項ヲ取消スト云フガ、本
員モ其提出者デアリマスガ、私ハ矢張維持シテ置キマス

○星亨君(八番) 委員會ノ通テ、ツレバ平島君ガ自分ノ所ヘ持ッテ往クト都
合ガ悪ルクナルカラ、平島君ノハ委員會ノモノト同ジナルカラ、委員會ノ
モノト見テ採レバ宜シイ、而シテ一ニ項ダケハ委員會ト違ッテ居ルカラ、平
島君ノヲ御採リニナツタラ宜カラウト思ヒマス、サウナレバドツチニ賛成ス
ルコトモ出來ナイ

○平島松尾君(百八十四番) ツレバ宜シウゴザイマス
○議長(楠本正隆君) 然ラバ第一ハ委員會ト同様ノ意見デアルカラ之ヲ除キ
サウシテ第二ハ修正ト看做シマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)
○議長(楠本正隆君) 島村成達君ノ修正ヨリ決議ヲ取りマス、島村君ノ修正
説ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數
○議長(楠本正隆君) 少數——因テ島村成達君ノ修正説ハ消滅シマシタ、次
ハ少數者ノ意見、少數者ノ意見ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數
○議長(楠本正隆君) 是レ亦少數ニテ消滅シマシタ、次ハ平島君ノ修正説ニ
同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數
○議長(楠本正隆君) 少數、因テ平島君ノ説ハ消滅シマシタ、終リニ委員會
ノ修正ニ就イテ決議ヲ採リマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數
○議長(楠本正隆君) 多數、因テ委員會ノ修正ニ決シマス、次ハ第四條ニ移
リマス——第四條ハ御動議ナキヲ以テ可定ト認メマス、第五條ヲ議題ト爲シ
マス、是ニハ少數者ノ意見、平島松尾君ノ修正ガアリマス

○鈴木充美君(四十一番) 是ハ唯今此第三條ガ決スル以上ハ、第五條ノ第一
項ト云フ修正ハ、自然ト消エルヤウニナリサウデアリマスガ、矢張此提出者
ハ其通り御主張ニナルノデアリマセウカ否ヤ御確メニナツタラ如何デゴザ
イマセウカ

○議長(楠本正隆君) 平島松尾君——第五條ノ修正ハ御主張ニナルノデアリ
マスカ

○平島松尾君(百八十四番) 何デゴザイマスカ
○議長(楠本正隆君) 第五條ノ修正ハ、先キニ御演説ノ通御主張ニナルノデ
アリマスカ

○平島松尾君(百八十四番) 既ニ第三條ガ潰レマシタ以上ハ、主張スル必要
ハナイノデアリマス

(「然リマス」ト呼フ者アリ)
○議長(楠本正隆君) 然ラバ平島君ハ取消ニ爲リマシタ、少數者ノ意見ニ就
イテ決議ヲ採リマス、少數者ノ意見ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數
○議長(楠本正隆君) 少數、因テ少數者ノ意見ハ消滅シマシタ、次ハ委員會
ノ修正

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(楠本正隆君) 委員會ノ修正ニ御動議ナイト認メマス、サスレバ確定
ヲ報ジマス、六條、七條ヲ議題ト爲シテ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(楠本正隆君) 確定ヲ報ジマス、次ハ第八條、是ニハ委員會ノ修正ガ
アツテ「或ハ贈與シ」ノ五字ヲ挿入シテアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(楠本正隆君) 草刈親明君

(「草刈親明君演壇ニ登ル」)
○草刈親明君(二百三十二番) 第八條ニ就キマシテハ本員ハ政府案ヲ賛成致
シマス、即チ委員會ガ「或ハ贈與シ」ト云フ五文字ヲ挿入致シタノバ甚ダ其當
ヲ得ナイ、之ヲ削除セント致スノデゴザイマス、此ニ就キマシテハ一讀
會ノ際ニ私ガ委員長代理鈴木充美君ニ御質シ致シタコトガアルデ、其御答辯
ニ依ッテ見レバ、此贈與ト云フ文字ノ中ニハ交換ト云フコトモ讓渡ト云フ
コトモ含蓄シテ居ルモノデアルト云フ御答デゴザイマシタガ、私ハ鈴木君ノ
御答辯トシテハ實ニ驚カザルヲ得ナイコトデアアル、併ナガラ委員會ノ修正
意見ガ即チ此贈與ト云フコトニ交換、讓渡ト云フコトガ含ンデ居ルト云フ以
上、無論此意味ヲ以テ此文字ヲ加ヘラレタモノト解釋スル外ナカラウト私ハ
思フノデアアル、然レニ若モ「自家用料酒製造者ガ其製造シマシタ所ノ酒類ヲ
贈與スルコトモ、交換スルコトモ、又ハ讓渡スルコトモ出來ナイ、勿論販賣
スルコトヲ禁ズルト云フヤウナコトニ相成リマシタナラバ、其弊害ヤドウ云
フモノデゴザイマセウカ、其結果實ニ恐ルベキコトガアルト思フ、其際ニモ
既ニ御話致シマシタ通、地方ニ於キマシテハ嫁ヲ迎ヘ婿ヲ取ルト云フ場合
ニ、結納ノ一トシテ此自家用料酒ヲ贈ルト云フ習慣ガアル處ガアル、若シ左
様ナ場合ニ於テ自家用料酒——自家ニ於テ製造シタル所ノ酒ヲ此結納等ニ用
ユルコトガ出來ナイ、然レドモ習慣ガアル故ニ、其式ヲ履マナケレバナラマ
ト云フコトガゴザイマシタトキハ、諸君ドウデゴザイマセウカ、先ヅ此贈
物ヲ爲スニ當ッテ已ムコトヲ得マセヌカラ、自家用料酒デハゴザイマセヌ、
何處某ノ製造人カラ買ッテ參ッタモノデアルト云フコトヲ警察官ニ届ケテ、警
察官ノ認可ヲ受ケナケレバ結納ヲサレナクナッテシマフ、如何デゴザイマセ
ウ、此人倫ノ大事ナル所ノ此結婚等ニ於テ儀式ニ用ユル場合ニ、斯様ナル警
察官ノ干渉ヲ受ケテ警察官ノ認可ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトガア
タナラバ、地方ノ習慣ヲ破ルノミナラズ、實ニ奇妙キテレツコトガ出來
ル、ツレカラ今一條ヲ言ヒマスガ、此交換、讓渡ヲ禁ズルト云フコトモアル、
例ヘテ言ハハ一家内ニ五人家族ガ居テ一人酒ヲ飲ム者ガアル、其一人ガ自家
用料酒ヲ造ッテ居ッタトキニ、其一人ガ他ニ轉ジタ、或ハ死ンダ、一石ノ酒

ガ五斗殘ッテ居ッタナラバ、此酒ノ處分ハドウスル、鈴木君ノ言フ通ニスレバ、吳レルコトモ出來ナイ、交換スルコトモ出來ナケレバ、讓渡スコトモ出來ナイカラ、ツレハ捨テ、シマフヨリ仕方ガナイ、虎列刺病流行ノ際ニハ眞平御免デゴザイマス、斯様ナ事實アルガ故ニ、此場合ニ於キマシテハ、ドウシテモ讓渡ト云フコト、贈與ト云フコト、交換ト云フコトハ許シテ置カナケレバナラナイ、而シテ之ヲ許シタ、メニ酒造家ヲ如何ニ害スルカ、ドウ云フ害ガ及ブカト云フタナラバ、私ハ其害ト云フモノハナイト思フ、故ニ酒造稅法ノ改正法律案ニ於キマシテモ、既ニ酒造家ト云フモノガ、酒造稅ノ上ニ地方稅ノ賦課ヲ受ケヌト云フ、利益アル法律ガ決定シマシタ以上ハ、此上ニ酒造家ノ利益ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ必要ハナイノデアル、故ニ滿場ノ諸君ニ於カセラレマシテモ、此第八條ニ就イテハ矢張政府案ノ通販賣スルト云フコトヲ禁ジテ、是デ足ルト云フコトニ御同意アラントヲ希望致シマス、聊カ申述ベマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 第八條委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

〔多數〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) マダ議長ハ多數、少數ノ判斷ヲ下シマセヌ、モウ一應起立ヲ要シマス、第八條委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマスル、因テ原案ニ決シマス、次ハ第九條ヨリ第二十五條マデヲ議題ニ供シマスル

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 諸君、第十一條デアリマスル、酒造稅法案ノ第五條ヲ新ニ挿入ニナルコトニ決シマシタニ依ッテ、十一條ニ「二十九條ヲ適用ス」トアルハ、三十條ヲ適用スト改ムベキハ、自然ノ結果ト思ヒマス

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○鹿島秀賢君(十四番) 直チニ三讀會ヲ……

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 二讀會ノ終ヲ告ゲマスル、直チニ三讀會ヲ開クニ……

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ、直チニ三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議ヲ以テ、朗讀ヲ省イテ全部ヲ議題ニ供シマス

自家用酒稅法案(政府提出)

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) サウスルト、原案ノ確定ヲ報シマス、次ハ第六、混成酒稅法案、第二讀會ヲ開キマスル

第六 混成酒稅法案(政府提出)

○議長(楠本正隆君) 該案モ朗讀ヲ省イテ、第一條ヨリ三條マデヲ議題ト爲シマスル

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ可定ト認メマスル、次ハ第四條、是

ハ削除ニ爲ッテ居リマスル、原案ニ就イテ決議ヲ採リマス

○田口卯吉君(二百六十九番) 是ニ就イテ、私ハ意見ヲ述ベタイ

○議長(楠本正隆君) 田口卯吉君

〔田口卯吉君演壇ニ登ル〕

○田口卯吉君(二百六十九番) 諸君、本員ハ此第四條ハ原案ニ爲ランコトヲ希望致シマスル、其理由ハ元ト此混成酒稅法案ト云フモノハ、第一條、第二條等ニ掲ゲマシテアル通、其種々ノ製造ニ係ルモノデゴザイマシテ、其製造ノ造石數ヲ調査致シマスルト云フコトハ、餘程困難ナル仕事デアラデス、殊ニ此小賣酒屋ガ其店ニ於キマシテ、酒精ト水ヲ其酒ノ中ニ混シテ、其石數ヲ増スモノヘ向ッテ稅ヲ掛ケルト云フコトハ、餘程困難ナルコトデアラ、是ガ政府ガ其店ニ於テ幾何ノ石數ヲ増シタトカ云フコトヲ調査シヤウト思ヒマシテモ、速モ調査ノ出來ルモノデナイノデ、マア今日ト雖モ、彼ノ町酒屋ニテモ水ヲ混ゼル、其酒ノ中ニ水ヲ混ゼルト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通デアラ、其混ゼタ水ハ幾石デアラカト云フコトヲ收稅吏ガ調査シテ、又其營業人ニ届出サセテ、其増シタ石數ニ對シテ、一石六圓ノ稅ヲ掛ケルト云フコトハ、到底行レナイノデアリマスル、ツレガタメニ此草案ニ於キマシテハ、別ニ第四條ハ原案ノ如ク、此別ニ製造所ヲ設ケズシテ、混成酒ヲ製造スルモノニハ月稅二圓ヲ掛ケテ、其煩勞ヲ省カウト云フコトニナッテ居ルノデス、此條項ハ設ケマスルトキニハ、製造所ヲ設ケテ混成酒ヲ造ル者ハ、追、店デア造ルヤウナコトニナルガタメニ、其弊害ヲ避ケンガタメニ、委員會ハ之ヲ削リマシタノデゴザイマスケレドモ、若シ一々之ヲ検査スルコトニナリマシタナラバ、本員等ノ見ル所ヲ以テシマスルト、實ニ犯罪者ヲ生ズルノミナラズ、此收稅ノ目的ハ到底達シ得ヌコト、考ヘル、ツレ故ニ本員ハ此委員會ノ修正ニハ反對デゴザイマシテ、此第四條ハ原案ノ如クナランコトヲ希望致シマスル、第四條ガ原案ノ如クナリマスレバ、此以下ハ總テ原案ノ如ク致シマスルノデゴザイマスカラ、ドウゾ右ノ如クナランコトヲ希望致シマス

○堀内賢郎君(七十一番) 質問ガアリマス、田口君ガ唯今第四條ノコトニ就イテ、原案ニ復スルト云フコトノ修正動議ヲ出サレマシタガ、此事ニ就イテハ田口君モ能ク御承知ノコトデアリマスガ、第四條ノ如キ事ヲ、若シ田口君ノ御論ノ如クニ復活致シマシタナラバ、混成酒ニ對シテ私ハ大ニ影響ガアルト考ヘル、此本文ニ在リマスル通、別ニ製造所ヲ設ケズ、店頭其他ノ場所ニ於テ混成酒ヲ製造シテ販賣スル者デ、月稅二圓ヲ納メルモノニハ、造石稅ヲ課セヌト云フコトニナッテ居リマスガ、若シ此法ヲ行フ場合ニ、店頭若クハ其他ノ場所ニ於テ十石カ二十石、若クハ百石造ツタ所デ、之ヲ制限スル法ハ、ドウシテ田口君ハ御立テニナルノデアリマスカ、之ヲ質問致シマス

○田口卯吉君(二百六十九番) 別ニ制限ハシナイ、原案ノ通

○堀内賢郎君(七十一番) 原案ノ通りニシマスルト、如何ニ取締ヲ致シマスカ、百石造ツテモ、二百石造ツテモ宜シト云フノデアリマスカ

○田口卯吉君(二百六十九番) 宜シト云フノデアリマス

○堀内賢郎君(七十一番) 百石造ツテモ、二百石造ツテモ、月稅二圓ヲ納ムレバ宜シイノデスカ

○田口卯吉君(二百六十九番) 其意味デアリマス、逆モ混成酒法案ニ於テハ取レヌノデアルデス、寧ロ此案ニ對スル稅ハ、酒造稅則ニ從ツテ是マデノ通立テ、混成酒ヲ徵收スルノヲ適當ト思フテ居リマスケレドモ、其意見ノ行レナイ以上ハ、此原案ノ通ノ便法ヲ設ケテ、取レマセトキニハ、逆モ此水ヲ以テ増ス、百石増スカ、ナシカカ分リマセヌガ、其増シタ石數ヲ一々調査シテ、其石數ニ向ッテ一々圓ノ稅ヲ掛ケルト云フノハ行レナイノミナラズ、行フトスレバ何レノ小賣酒屋モ皆犯罪者ニ爲ル、此小賣酒屋ハ原案ノ調ベニ依ルト、十五萬人アル、全國ノ十五萬ノ小賣酒屋ヲ、一々水ヲ以テ増ス所ノ増石ヲ調査スルコトガ出來マセウカ、出來ナイト本員ハ信ズル、ソレ故ニ此原案ノ如クニ法ヲ設ケテ置キマスルノハ、是ハ巧ナル仕組デアアル、是ハ已ムヲ得ザルコト、考ヘマス

○議長(楠本正隆君) 第四條ハ削除ニ爲ッテ居リマス、原案ニ就イテ決議ヲ採リマス、第四條原案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、即チ削除ニ決シマス、四條ガ削除ニ爲レバ自然條ハ繰上ニ爲リマス、此整理ハ議長ニ一任ヲ請ヒマス

○議長(楠本正隆君) 就イテハ、第五條ノ末項ヲ除イテ、其他ハ皆原案ニ決シマス、末項ハ削除ニナツテ、居リマスルニ依ッテ念ノタメニ決議ヲ採リマス、五條ノ末項ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 起立者ナシ、削除ニ決シマス、是ヨリ第六條ニ移リマス

○議長(楠本正隆君) 御異議ナクハ削除ニ決シマス、次ハ第七條委員ノ修正ニ就イテ決議ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 御異議ナクハ委員會ノ修正ヲ可定ト認メマス、次ハ第八條

○議長(楠本正隆君) 是レ亦修正通リニ決シマス、九條以下全部ハ亦異議ナシト認メマス

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト呼フ者アリ

類出港稅則中改正法律案ニ對シテ修正ノ意見ヲ持ッテ居リマス、至ッテ簡單デゴザイマスカラ、是ヨリ陳述致シマス、先ヅ第一ニ申シテ置カネバナラヌノハ、沖繩縣ニ於キマシテハ、此第一種ニ屬シマスル酒類製造場ハ、今日マデハ全クナイノデゴザイマス、併ナガラ法律ガ之ヲ置クノ必要アリト致シマシタナラバ、彼ノ酒造稅法案ニ於テ第一種ノ中ノ濁酒ト云フモノヲ第二種ト修正サレ、ソレカラ酒造稅法案ノ第二種、第三種ト修正サレタニ就キマシテハ、自ラ此法案モ此種類分ケニ就イテ修正シナクハ相濟マヌコトデアラウト思フ、而シテ本員ハ又第一種、第二種、第三種ニ對シマシテ、稅率ノ修正ヲ致シタイノデゴザイマス、第一種ハ政府提出ノ案ニ依ルト云フト金六圓ト云フコトニ爲ッテ居リマス、併ナガラ之ヲ五圓ト云フト致シタイ、ソレカラ第二種ノ濁酒ノ方ヲ四圓ト致シ、第三種ノ燒酎、酒精七圓トアリマスノヲ六圓ト云フト致シタイ、右様ニ修正ヲ致シタル理由ハ、北海道ニ於テ既ニ内地ノ酒造稅率トハ一圓ノ差ヲ設ケラレタ結果ト致シマシテ、沖繩縣ニ於テモ、唯今ノ内地ニ比較シテ定メラレタ所ノ酒造稅法案ニ對シテモ、稅率ヲ一圓ニ修正スルノガ當然デアルト云フトハ、多辯ヲ要セナイコト、思ヒマスルガ、尙諸君ノ御參考ニ御披露致シテ置キタイノハ、政府委員ヨリ委員會ニ參考ノタメニ提供サレマシタ書類ニ依ッテ見マシテ、百石ノ前ニ

十六圓何ガシノ損失ニナルト云フトハ、明ニ此參考書ニ掲ゲラレテアルデアリマス、尙ホ之ヲ細カニ申シマスレバ、玄米百石ノ代價ヲ鹿兒島縣デモ九十圓、沖繩縣デモ九十圓ト、同一ニ積リテアル、而シテ造石稅ハ鹿兒島縣ガ四百六十四圓、沖繩縣ガ四百六圓トナツテ居ル、是ニ沖繩縣ノ酒類ノ内地ニ運搬シマスル費用ガ三十九圓、ソレカラ内地ヨリ米ヲ沖繩ニ運送シマスル費用ガ三十五圓、斯様ニ相成ッテ居リマスルガ故ニ、合計ノ上ニ於テ、鹿兒島デハ百石ノ前ガ千三百六十四圓デアラウ來得ルモノガ、沖繩縣ニ於テハ千三百八十圓、即チ百石ノ前ニ千三百六十四圓沖繩縣ノ酒類ハ割合ガ高クナツテ居ルデアリマス、尙ホ此外ニ實際ノ事情ヲ申シマスルト、沖繩縣ニハ米穀ト云フモノハ殆ド出來ナイ處デアリ、ソレデ是マデ實際ヲ申シマスレバ、内地ノ商人ガ沖繩ニ來テ送ッテ其米ヲ砂糖ト交換スル、而シテ其米ヲ得テ始テ泡盛ナルモノヲ、即チ燒酎デゴザイマセウガ、製造致シテ之ヲ内地ノ商人ニ賣渡シテ、出港稅ヲ出スト云フトニ爲ッテ居リマスカラ、政府ノ考デハ十六圓ノ損ガ鹿兒島縣ニ比シテアルト申シマスルガ、事實上ニ於テハ十六圓ト云フコトハ、十六圓ヨリカニ倍、若クハ三倍ノ差ガアルデアラウト云フト考ヘタ、果シテ左様デアリマスルモノナレバ、政府ノ此提出サレタ所ノ稅率ハ、其當ヲ得タルモノデアハナイト考ヘマスルカラ、第一種ノ中カラ濁酒ヲ引キマシテ一石ニ附キ金五圓、第二種濁酒一石ニ附キ金四圓、第三種燒酎、酒精一石ニ附キ金六圓ト云フトニ修正致シタイノデアリマス、願ハクハ諸君ノ御贊成ヲ得テ、此修正案ノ通過セラレンコトヲ希望致シマス

○東尾平太郎君(二百八番) 折田君カラ修正ガ出マシタガ、是ニハ同意ガ出來惡イノミナラズ、自分モ修正ガアリマス、第一種ノ中ノ濁酒ダケヲ、第二種ニ置イテ、之ヲ内地ノ濁酒ト同様一圓ダケ減シマシテ、濁酒ハ一石ニ附キ金五圓ト云フトニ修正致シタイ、他ハ原案デ宜シウゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○鈴木充美君(四十一番) 今既ニ御説ガアツタヤウデゴザイマスガ、是ハ自然ノ結果トシテ、濁酒ト云フモノハ第二種ニシ、第一種ト云フモノヲ第三種ト改メ、第一種中ノ濁酒ヲ削ツテ、第二種ノ濁酒トスルト云フコトニ就イテハ、一ツ輕減シテ、一石ニ附キ金五圓ト云フコトノ修正ニ爲ラナケレバナラヌヤウニ考ヘマスカラ、其通りニ……

(贊成々々)ト呼フ者アリ「採決々々」ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 鈴木充美君ノ御議論ハ自然ノ結果茲ニ至ラザルヲ得ズト云フ御注意ノヤウデスガ……

○鈴木充美君(四十一番) イヤ、動議トシテ提出致シマス

○議長(楠本正隆君) 其金額ヲモウ一應御述べ下サイ

○鈴木充美君(四十一番) 讀ミマス、第一種清酒、白酒、味淋——濁酒ヲ取リマス、第二種、濁酒一石ニ附キ金五圓、第三種第二種トアルノヲ第三種ト致シマス

○議長(楠本正隆君) 東尾君ノ動議ト同様デスカ

○東尾平太郎君(二百八番) 拙者ノモ其通

○議長(楠本正隆君) 然ラバ東尾君ノ動議ガ先キニ出テ居リマス、東尾君ノ修正ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 大多數、因テ東尾平太郎君ノ修正説ニ決シマシタ、是ハ規則ニ從ツテ直チニ三讀會ヲ開クコトヲ議長ヨリ請求致シマス

○議長(楠本正隆君) 直チニ三讀會ヲ開キマス

(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ確定ヲ報シマス——次ハ日程ノ第八

明治十九年勅令第六十一號稅率改正法律案(政府提出)

第三讀會

沖繩縣酒類出港稅中改正法律案(政府提出)

(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ確定ヲ報シマス——次ハ日程ノ第八

明治十九年勅令第六十一號稅率改正法律案(政府提出)

第二讀會

○鈴木充美君(四十一番) 是モ前ノ法案ト同シヤウニ修正ヲスルコトノ動議ヲ提出致シマス、即チ濁酒ト云フ字ヲ第一種カラ削ツテ第二種濁酒ト書イテ、一石ニ附キ金五圓、ツレカラ第二種ヲ第三種ト改メ

(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 鈴木充美君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス

(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 因テ鈴木充美君ノ説ニ決シ、是ニテ二讀會ヲ終リマシタ、是ヨリ直チニ三讀會ヲ開キマス

明治十九年勅令第六十一號稅率改正法律案(政府提出)

第三讀會

(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 直チニ三讀會ヲ開イテ確定ヲ報シマス、次ニ第九、輸入棉花海關稅ニ關スル法案ノ第二讀會ヲ開キマス——栗原亮一君

第九 輸入棉花海關稅免除法律案(政府提出) 第二讀會

(栗原亮一君演壇ニ登ル)

(異議ナシ)ノ聲起ル

ト呼フ者アリ

○栗原亮一君(八十五番) 昨日モ異議ナシデアリマシタガ、ナカナカ東尾君ノ大異議ガアリマシタノデ、又今日モ東尾君ノ大異議ノミナラズ、大議案ガ御提出ニナツテ居ル趣デゴザリマス、ツレデアリマスカラ一通リ辯ズル必要ガアリマス、昨日東尾君ノ段々ノ御演説ニ於キマシテハ、之ヲ廢シテハ内地ノ棉作ニ大ナル害ガアルカラシテ、絶體ニ反對デアルト云フ御議論デアリマシタ、併シドウカ今日ノ所デハ先ヅ其御論ハ御取消シニナリマシテカラニ、唯時機ニ於テ之ヲ條約改正ニ爲テ海關稅ノ增加シタ時分ニデモヤルト云フ御論ノヤウニ承リマシタ、デ、シテ見マスレバ昨日ノ東尾君ノ御論ニ對シテ御自身カラ御取消シニナツタヤウナ譯デアリマスカラシテ、私ハモウ今日ハ申シマセヌ、唯此時機ニ就イテ少シ之ヲ辯ズルノ必要ガアルト思フデゴザリマス、既ニ我國ノ工業ヲ發達セシムル上ニ於テ、原料ノ輸入ノ如キハ之ヲ廢サナケレバナラヌト云フコトハ、先ヅ反對論者ニ於テ既ニ之ヲ認メラレタコトデアリマス、然ラバナゼ今日急ニ之ヲ廢シナケレバナラヌカト云フコトダケヲ簡單ニ述ベテ置キマス、此海關稅ガ增加ヲ致ス時ニ於テハ、固ヨリ財源ニ於テモ十分綽々餘裕アリマスシ、又吾々提出セシ所ノ海關稅法案ニ於キマシテモ、棉花ノミナラズ羊毛其他原料ニ屬スルモノハ、日本國ヲ工業國トシテ立ツルニ於テハ、其輸入稅ヲ免ズルコトガ必要デアルト云フノ方針ヲ以テ、既ニ此案ヲ提出シテ居リマス、併ナガラ是ハ本年ニ於テ制定ニ至ルト云フコトハ、甚ダ時機覺束ナクアリマスカラシテ、殊ニ此案ノ政府案トシテ提出セラレタル譯デアリマス、ナゼ此條約改正實施ノ後海關稅ノ增加ヲ見ルマデ之ヲ待ツコト能ハズシテ、今日急ニ之ヲ廢シナケレバナラヌカト云フ譯ハ、即チ日清戰爭ノ後彼ノ平和條約ニ於キマシテ、既ニ支那國ニ於キマシテハ日本ハ支那ノ内地ニ工業ヲ起スコトガ出來ルト云フノ條約ガ出來マシテ、即チ最惠條款ニ依ツテ日本ノミナラズ各國モ亦此條款ニ依ツテ、共ニ其利益ヲ受クルト云フコトデアリマシテ、此條約ヲ利用致シテ米國、英國、獨逸是等歐米ノ富強ノ各國ガ支那内地ニ今ヤ方サニ大イニ此紡績業ヲ興スノ計畫ヲ爲シテ居ルノデアリマス、即チ上海其他ノ近傍ニ於キマシテハ、新ニ興ラントスル所ノ紡績ノ錘數ト云フモノガ、四十万六千本ニモ至ラントスル所ノ景況デアリマシテ、即チ我國ニ在ル所ノ總數九十八万四千本、殆ド我國全體ノ紡績工業ノ半分ニモ至ル所ノ大工業ヲ上海ニ於テ興サントスル所ノ計畫ガ成ツテ居ルト云フコトデアリマス、然ラバ是マデハ日本國ハ、原料ヲ支那ヨリ取ツテ、サウシテ内地ニ於テ之ヲ製造致シテ、又之ヲ支那ノ内地ニ輸入ヲスルトツレガタメニ支那ノ内地ヨリ棉花ヲ出ス時分ニ輸出稅ヲ拂ヒ、又日本ニ原料ヲ持込ム時分ニ輸入稅ヲ拂ヒ、而シテ之ヲ輸出スル時分ニ輸出稅ハ既ニ廢サレマシタガ、尙ホ清國ニ輸入スルトキニ於テモ、輸入稅ヲ拂ハナケレバナラヌ、詰リ此三通リノ稅ヲ拂フガタメニ逆モ競爭ト云フコトハムヅカシイデアリマス、是マデニ於キマシテモ支那市場ニ於テ日本ガ英領印度ト競爭スルニ於テ、先ヅ一俵ニ就イテ六十二錢位日本ノ方ガ高ク付キマスカラシテ、印度絲ト此清國ノ市場ニ於テ大ニ競爭ヲスルト云フコト

ハ、實ニ困難デアッタデアリマス、茲ニ於テ原料ノ輸入税ヲ廢スルナラバ、此競争ニハ十分打勝ツ見込ガアルト云フコトデアリマス、今日マデ此免稅論ガ八ヶ間敷アリマシタガ、尙ホ今日最モ之ヲ急要トスル譯ハ前來述べタル所ノ道理デアリマシテ、昨日モ東尾君ノ御演說ニ此提出ノ理由書ニ在リマスル如ク、日本ノ方ハ九圓八十錢程モ高ク付ク、故ニ此一俵ニ就イテ一圓四十錢位ノ稅ヲ廢シタ所ガ、逆モ競争ノ出來ルコトデナイト云フコトデアリマシタ、併シ其差ハ成ル程九圓八十錢バカリデアアルノデゴザリマス、併ナガラ是ハ唯原料ニ就イテノ計算デアリマシテカラニ、日本ノ工費等ガ廉價デアリマスルカラシテ、是等工費ノ廉價ナルタメニ、色ミ工業上ニ於テ勉強致シタナレバ、三圓六十五錢位ハ支那ノ方ガ尙ホ優ニ利益ヲ占メテ居ルケレドモガ、併シ其内一圓四十錢ノ稅ヲ廢シタナレバ、二圓二十五錢位ノ差デアアルカラ、日本人ガ勉強ニ依ッテ隨分此差ニ打勝ツテ競争ガ出來ルト云フ見込デアリマス、斯ノ如クニ今日ハ實ニ此戰後ノ經營ヲ爲ス上ニ於テカラニ、大イニ日本ノ工業ヲ發達セシメテ、廣ク原料ヲ海外ニ取ツテ之ヲ内地デ製造ヲ致シテ、東洋ノ商權ヲ握ルト云フコトハ、甚ダ急務デアリマス、又今日形勢斯ノ如クニ商工業ノ競争ト云フモノガ迫ッテ居リマスルカラシテ、特ニ此事ヲ急要トシテ此案ノ提出セラレタル譯デアリマスルカラ、ドウカ諸君ハ速ニ確定セラレレンコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 該案ハ東尾平太郎君ヨリ定數ノ贊成ヲ得テ修正案ガ出テ居リマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ「簡單々々」ト呼フ者アリ

(東尾平太郎君演壇ニ登ル)

○東尾平太郎君(二百八番) 此案ニ就キマシテ私ハ昨日絕對ノ反對ヲ致シマシタガ、議會ノ多數ヲ以テ通過シマシタ、今日ハ二讀會ヲ開ク場合デアリマス、私ノ精神ニ於キマシテハ、今日ニ於テモ絕對ニ反對スル積デアリマス、如何センニ讀會ハ此議事法ニ依ッテ絕對ニ反對スル譯ニモイキマセヌカラ、已ムヲ得ズ茲ニ修正案ヲ提出シタ譯デアリマス、其修正ノ旨意ハ外國ヨリ輸入スル棉花ハ明治二十九年四月一日ヨリ海關稅ヲ免除ス、トアリマス「外國ヨリ輸入スル棉花ハ改正條約實施ノ日ヨリ海關稅ヲ免除ス」ト、ソレダケノ僅ナ修正デアリマス、抑、此海關稅杯ハ内國ノ國稅トハ違ヒマシテ、我國我議會ヲ勝手ニ増減スベキモノデアゴザイマセヌ、一度是ヲ廢シマシテ、日本ノ便宜ニ依ッテ再ビ之ヲ取ルト云フコトハ、困難デアリマス、是等ノ稅ヲ全廢スルニ就イテハ、諸君ニ於テ餘程注意セネバナラヌコト、思ヒマス、大體ノ理由ニ於テ昨日モ述べマシタガ、最早條約改正實施ノ日ト云フモノハ、數年ノ中ニ在ルコトデアリマス、今日國費多端ノ時ニ方ッテ、是等ノ稅源ヲ失スルト云フコトハ、國家ノ財政上不得策デアルト思ヒマス、條約實施ノ曉ニ爲リマスレバ、海關稅ノ增加ト共ニ是等ノ海關稅ヲ免除シマシテモ、敢テ國庫ニ差支ヲ生ジナイコト、私ハ信ジマス、又工業ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ、反對者ノ栗原君ニ私モ同論デアリマス、日本ノ工業ノ發達ヲ圖ルハ今日ノ急務デアリマス、併ナガラ政府ガ殊更ニ保護獎勵シナクトモ十分發達スルモノヲ、特ニ獎勵保護ヲスルノ必要ハ私ハ認メマセヌ、今日ノ紡績會社ハ昨日モ申シマシタガ、九箇年ニ於テ十四倍ニ膨脹シテ、今

日ハ百万ニ垂ントスル錘數ニ及ンデ居リマス、既ニ外國ノ輸入綿絲ヲ許シ、綿絲ハ既ニ今日ハ段々支那市場ニ向ッテ、印度綿絲或ハ上海綿絲ト競争スル場合ニ至ッテ居リマス、ソレデ外國ノ輸入綿絲ノ不正杯ト云フコトハ、今日マデノ實跡ニ徴シテ明瞭デアリマス、唯外國ニ輸出競争ノ場合ニ爲ッテ居リマス、此輸出稅ニ關係シマシテハ、昨年デアゴザリマシタガ、既ニ綿絲輸出稅ヲ全廢シテ、一摺ニ就キ四圓ト云フ免除ヲ致シテ居リマス、此免稅ニ依ッテ英國綿絲ナリ、印度ノ綿絲ト、日本ノ紡績會社ハ、支那内地ニ於テ競争スルコトハ、十分餘裕アリト信ジテ居リマス、又今栗原亮一君ハ、日清戰爭ノ結果ニ依ッテ、通商條約ノ締結ハ、日本人ハ申スニ及バズ、各國人ハ皆支那内地ニ於テ工業ヲ起ス、是等ニ對シテ大ニ内地ノ紡績ヲ保護獎勵シナケレバナラヌト言ハレマシタガ、今日ハマダ多數ノ四十萬錘ノ計畫ガゴザリマスガ、上海ガ東洋ノきんちねすたあトナルノハ、マダ十年向フノ事デアリマス、海關稅廢止ノ時ニ此稅ヲ廢シテモ決シテ遅カラヌ次第デアリマス、實際ニ現在今日上海ノ紡績ハ如何デアゴザイマスルカ、實ニ微々タルモノデアッテ、到底日本ノ紡績會社ト競争スベキ力ハアリマセヌ、然ルニマダ十年向フノ上海ノ紡績ヲ想像シテ、何ヲ慌テ、今日ヨリ此稅ヲ全廢シマスルカ、條約改正實施ノ時ヲ以テ、海關稅ノ增加ト共ニ是等ノ原料ニ關スル稅ヲ免除シテ然ルベキ事ト考ヘマス、時間モ迫ッテ居リマスルカラ、自分ノ意見ヲ簡單ニ述べ、修正ノ意思ヲ述置キマス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、東尾平太郎君ノ修正說ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ東尾平太郎君ノ說ハ消滅致シマシタ、原案ニ就イテ決議ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 原案ノ確定ヲ報シマス、直ニ三讀會ヲ開クコトヲ議場ニ請求ヲ致シマス

○議長(楠本正隆君) 異議ナシト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナイト認メ、直チニ三讀會ヲ開キ、御動議ガナケレバ確定ヲ報シマス

輸入棉花海關稅免除法律案(政府提出) 第三讀會

○吉本榮吉(八十二番) 此私ハ第十、第十一、第十二ノ日程ト云フモノハ各ニ讀會ヲ開クコトニ今日決議ヲシテ置キタイト思ヒマスカラ、委員長ガ報告ヲセラレテモ、三ツ一緒ニ報告ヲセラレ、且ツ單簡ニ報告ヲ早クヤラレンコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 諸君、日程ノ第十以下ハ餘程重大ノ議案デアリマシ

テ、定數ハアリマスルガ、餘程少數ニ及ンデ居リマス

○議長(楠本正隆君) 明日ニ呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ、是ニテ散會シ、第十以下ノ議案ハ明日ニ移シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(楠本正隆君) 明日ノ日程ヲ報シマス

(佐脇書記官朗讀)

議事日程 第三十六號 明治二十九年三月十二日(木曜日)

午後一時開議

第一 事業公債條例案(政府提出)

第二 日本勸業銀行法案(政府提出)

第三 農工銀行法案(政府提出)

第四 農工銀行補助法案(政府提出)

第五 裁判所ノ設立及位置並管轄區域ノ變更ニ關スル法律案(政府提出)

第六 大阪府下郡廢置法律案(政府提出)

第七 兵庫縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出)

第八 埼玉縣下國界變更及郡廢置法律案(政府提出)

第九 群馬縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出)

第十 千葉縣下郡廢置法律案(政府提出)

第十一 茨城縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出)

第十二 栃木縣下郡廢置法律案(政府提出)

第十三 福島縣下郡廢置法律案(政府提出)

第十四 巖手縣下郡廢置及郡界變更法律案(政府提出)

第十五 富山縣下郡分離及廢置法律案(政府提出)

第十六 鳥取縣下郡廢置法律案(政府提出)

第十七 島根縣下郡廢置法律案(政府提出)

第十八 熊本縣下郡廢置法律案(政府提出)

第十九 鹿兒島縣下國界並郡界變更及郡廢置法律案(政府提出)

第二十 岡山縣兵庫縣境界變更並福岡縣大分縣境界變更法律案(政府提出)

第二十一 酒精營業稅法中改正法律案

第一讀會ノ續(特別委員)

第二十二 山形縣下郡分合法案(重野謙次郎君 外二名提出)

第二十三 郡制改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(楠本正隆君) 是ニテ散會ヲ報シマス 午後五時三十二分散會

衆議院議事速記録第三十二號正誤

頁 段 行 誤 正 頁 段 行 誤 正
四七一 上 一六 宮崎榮吉 宮崎榮治 四七一 上 二四 宮崎榮吉 宮崎榮治

衆議院議事速記録第三十四號正誤

頁 段 行 誤 正
四九八 上 九 三週間 二週間